Memorandom 4

(KDD 本社)

1977 年 12 月 1 日～1978 年 12 月 29 日

1977 年（昭和 52 年）

12 月

1 日
(木)

・日韓ケーブル会議に　出席.
機材調達に関し，討議.
・日韓代表と昼食.
KDD において光ファイバーケーブル(海底ケーブル方式)の研究を，研究所中心で大学やメーカーとの協同体制で進めるようとする動きがあるが，研究所と別に独自の異なった角度からの検討(研究開発の進め方に対する)を考えておくよう指示あり.

2 日
(金)

・佼成病院にて，胃カメラの検査を受ける.（午前）
・OLUHO ケーブルにおけるレベル変動に対する対応策について，関係役員・部長間打合せ.
(13:30～16:00).　保全部主催
志村常ム，笹本取締，海底線部，建設部，保全部，KCS.
・安藤電気 大城副社長，鈴木営業部長 来訪.（16:00～16:30）

3 日
(土)

・海建本部要員増について，本部内 部・次長間打合せ.（9:45～11:00）

5 日
(月)

・午前，日韓ケーブル会議.（10:00～13:30）.
建設基本原則，および　ミニッツの最終版の検討.
・KCS による昼食招宴.（13:30～15:00）.
志村，笹本 両役員，保全，海底線，建設 各部長.
・志村常務に，海建本部要員増計画案について説明，職員部と折衝することの了承を得.
(15:00～16:00)
・日韓ケーブルの陸揚地選定に関する打合せ.（16:50～17:30）
総合計画部主催. 海建本部，技術計画部，管理部，伝送施設部 各部長レベルで，関系役員懇談会に提出する資料について協議.

6 日
(火)

・Mr. Powell より来信の Journal “Telecommunication”投稿原稿を検討.
・職員部長と，海建本部要員増について協議.
職員部長，技術要員担当課長，海底線部長，次長.
・NASC 取締役会. 14;00～.
終了後，今後の総会，取締役会，建設保守協定，漁業折衝，関係官公署への提出書類の取扱い等について協議.
・金門製作所 斎藤常務と，懇談.

7 日
(水)

・海建本部要員増について職員部長と協議.
1. 12 名は確保願いたい.
2. 止むを得ぬときは，兼務も考えたらどうか.
3. 海建・職員部間で話しがつかないときは，最終調整は，総合計画部に頼むこととしたい.
4.“要員確保が計れぬ場合，プロジェクト建設を予定通り間に合せることを保証できず，責任をもてない”と云わせないでほしい.
・NTT へ，長田総務理事，岩崎施設局次長，曽根施設工事事ム所を迎えに行き，志村常務招宴にて，懇談.
・日韓ケーブル陸揚地選定の件に関する，関係役員懇談会. －欠席.

8 日
(木)

・日韓ケーブル陸揚地：選定のための沿海部調査の必要性につき，志村常務，海建本部関係者，管理部長間で協議.
浜田，出雲を現在までの調査結果から，上位候補地として，早急に沿岸部実施調査を実

施する．そのためにも，漁協の了承が要るので，管理部で併行して，漁協折　衝，用地調査等を進める．
・沖－台ケーブルのための沖縄における漁業折衝の開始が，社長より待つようにと指示された旨，管理部内野次長より連絡あり．

9日（金）
・日韓ケーブル会議 最終日．(10:30～11:00)．
ミニッツ，基本原則の確認．
・韓国代表と昼食．
・沖－台ケーブルの工事開始の際に，将来ケーブルも併せ先行布設する件につき，建設部，総合計画部と協議．
ケーブル建設委員会にかけることとし,そのarrangementを海底線部で行なうこととする．

10日（土）
・研究所 ゴルフコンペ，錦ヶ原にて．

12日（月）
・NASC 株式総会．11:00～．
藁 取締役，森 監査役　選任．
引続いて，取締役会，昼食．
・広谷調査役に沖縄－台湾ケーブル，日韓ケーブルのPERTの作成，工程管理を担務するよう指示．
・業務課長に，沖縄前面海域のケーブル先行布設に関する件を審議するための建設委員会開催をarrangeするよう指示．
・伝送同門会忘年会に出席．(京橋会館)．
・研究所 鍜冶副所長より TEL．
海建本部の要員増強に対する研究所からの異動要員について．

13日（火）
・研究所 中井室長　来訪．(10:00～11:00)
有シ研から海建本部へ 新納君の異動を希望したが，仕事の都合からみて湯口君なら出せるとのこと，渡米中の本人の帰国後，本人の意向を確かめて進めることとする．
・NASC 増田社長の召集で，建設保守協定の締結の進め方について協議(14:00～16:00)．
・熊野会館にて，村松業務課長の着任歓迎会．

14日（水）
・海底線建設委員会．(10:00～11:50)．
沖縄前面海域におけるケーブルの先行布設について審議．
・志村常務の指示により，日韓ケーブルにCS-36Mを使用する件に関するKDD社長からNTT総裁あて文書案を NTT技術局次長に持参し，意向を問う．(12:50～13:30)
・午後，関係者と，午前に行われた海建委で出た問題(先行布設する予備ケーブルについて)の処置につき協議．以後，主管 海洋課長，協力 各課で進めることとする．
・富士通 営業関係者と懇談．

15日（木）
・沖縄－台湾ケーブルの製造連絡会を開始するに当り,最初のあいさつを行なう.(9:30～　)．
・KDDとメーカーが夫々進めているケーブルプロジェクトに関し，計画の情報交換を行なうため，NEC 田畑氏，Fujitsu 奥村氏，OCC 滝鼻氏を招き，非公式の会合，各社の計画線表について紹介．(11:00～12:00)．
・田畑氏，奥村氏と昼食懇談．
・ OLUケーブルのレベル変動が悪化し，Mr. Histedから調整委員会へのadviceの提案もあり，志村常務，保全部長とも対策を協議．
　志村常務より，大島副社長，笹本取締に協議の結果，早急にCW，ETPIと技小委のなかで協議するよう計ることとなり，社長の了承を得るための連絡カードを立案．

16日
・OLUレベル変動の問題について，ETPI，CWと協議する件につき，志村常ムより，副社長，

(金)　社長の了承を得，社長より早急に協議を進めるよう指示ありとのこと.
・部長会 に出席.
・埋設・修理工法の開発に関する打合せ.(14:00～18:00)　開発グループ 主催.
・NASC 取締役会に報告する 沖ー台ケーブル建設推渉状況報告の検討.
・昭 52 年度経費に余裕があることから，開発，プロジェクト関連で早急手配を要するものを進めるため，これらをまとめるよう指示あり，技術課長，杉本調査役に検討指示.
・昭 53. 4 月 1 日の創業記念日における 社内表彰の上申書を作成提出.

17 日
(土)
・電通学会発刊技術図書“海底ケーブル通信”の図面原稿の校正.

19 日
(月)
・Manila の Mr. Histed に Tel.
OLU のレベル変動対策について，技小委の場で討議することを提案し，了承を得る.
この件は，Mr. Histed から London Mr. Powell に連絡してもらうこととする.
・以上の件，笹本取締にも報告する.
・研究所 湯口君 来訪.
1. 米国出張の報告.
2. 本社 海建本部への異動の件.
・荒木直三氏と懇談.

20 日
(火)
・志村常ムの指示で，OLU 障害時の KDD 丸の出動について，事前了解を CW，ETPI に求める TLX の作成を進める
・経費の余裕に伴なう，緊急支出につき，案を志村常務に説明.
常務より鶴岡副社長の指示として，経理に話しておくように云われ，経理部次長と協議.
・NASC 取締会(第 5 回). 16:00～17:00.
・NASC 社長招宴による忘年会.

21 日
(水)
・OLU 障害時の KDD 丸の出動について，事前了解を CW，ETPI に求める TLX 成文，発出(志村常務名).
・沖ー台ケーブルが NTT ケーブルと交差する問題について，KDD/NTT 間の事ムレベルの話し合い.(技術課長 出席).

22 日
(木)
・小池勇二郎氏(東北大名誉教授)の告別式，青山葬儀所. 14:00～.
・組合本部へ，日韓ケーブルの問題について説明. 17:00～.
計画，総企室より，陸揚地選定，海洋調査等 海建本部より.
・横須賀通研 宮内部長，松浦室長，沢栗調査役　来訪.
方式分科会の開催について協議.　夜 懇談(景徳鎮).
研 中井，湯口両君同席.

23 日
(金)
・午前，沖ー台ケーブル海洋調査報告.(建設部主催)9:30～11:00.
沖縄沿岸部調査結果の報告について討議.
・日韓ケーブルの今後の進め方の打合せ(総合計画部 主催). 14：00～16：00
・作業分担，作業部会の準備対策 など.
・日韓ケーブルにおける技術作業部会の窓口は，建設部長とする旨，志村常務より話しあり，了承.
・夜，東大 那須教授，海上保安庁水路部長に対する 招宴.

26 日
(月)
・沖縄ー台湾ケーブルの海洋調査報告打合せ.(14：00～16：00). 建設部 主催.
海洋部についての調査報告.
・志村常務の担当部 招宴.

27 日
(火)

・TPC-3 シドニー会合用資料の検討打合せ．9：30～12：30.
有シ研 中井，新納，佐藤君ら.
海底線 亀田，猪股，杉本，矢口，大原.
CS-12M，CS-36M の technical data および cost.
・有シ研 中井君らと 昼食，懇談
・技術関係役員の技術打合会(第 8 回) に出席(14：30～15：30)
大島副社長　以下.
技術計画部 より「光海底ケーブル研究開発の推進について」の案件，提出，審議.
・TPC 新計画シドニー会合 対策 打合せ.
総企室主催．途中より出席(15：30～16：30)
各部の作業分担，今後の対処方針 作成スケジュール 等.
・研究所 湯口君．海底線部 調査役 へ 発令さる.

28 日
(水)

・沖縄前面海域における 沖ー台，沖ー本ケーブル等の同時布設について.
先の建設委員会審議で出た宿題と，役員会付託の件を打合せ.
建設部 主催．10:00～12:30.
・木下，飯田両君と昼食.
・CW，ETPI へ OLU レベル変動対策のための打合せ提案の TLX 発出.
・KDD 役員，子会社役員に対する KDD 社長の年末あいさつ.
15：00～.　NASC 役員として 出席.

29 日
(木)

・石川保全部長と，CW，ETPI，KDD 間　技術打合会の討議事項について協議.
・志村常務より.
元大臣 新谷重三郎氏，参院西村尚治議員から，KDD 研究所の活動状況を大島副社長が尋ねられ，研究開発の PR の必要を痛感.
明年，早々，研究所へも視察案内するため，総企室，研究所で打合せるとのこと.
ケーブルの開発について，協議に与るよう指示あり.

昭和 52 年　仕事納め.

昭和 53 年(1978 年)

1 月

4 日 (水)
・10：00～．仕事始めの式.
・10：30～11：30．KDD 役員，関係子会社，外国 carrier 駐日代表，労組役員らと賀詞交換.

5 日 (木)
・OLU 区間レベル変動対策について，CW，ETPI と意見交換することとなり，その準備を進める.
ETPI　Mr. Histed
CW　Mr. R.S. Pitt
が来日し，10 日に東京で会合，11 日に沖縄で現地視察のこととする.

6 日 (金)
・部長会(10：00～11：40).
・システム経済化について打合せ(13：30～15：30)
中込 研究所長 池田　技計部長 ら，出席.
技術打合会にかける資料の審議.
・志村常務 より.
新太平洋ケーブル会議作業部会 シドニー会合 に 出席するよう，大島副社長も了承されたとのこと.
・海底線部打合会(調査役 以上).
プロジェクト，開発，海外協力，工程管理の仕事の分担を決める.

9 日 (月)
CW の Mr. R.S.Pitt　来日.
OLUHO ケーブルの保守における mutual aid，ケーブル船利用協定について協議.
出席．海建，国際，保全の各部.

10 日 (火)
・ETPI　Mr. Histed 来日．Mr. Pitt と共に，OLU 区間のレベル変動の問題について協議.
出席．海建および保全部.
・尾畑部長より，シドニーにおける太平洋ケーブル計画作業部会会合についての打合せに関し，Tel．―沖縄出張のため，出られない旨，了解を求める.
・夜，Messrs. Histed，Pitt に対する志村常務招宴.

11 日 (水)
・Messrs Histed，Pitt とともに沖縄へ向う.
沖縄中継所にて，レベル変動のデータを確認.
夜，那覇にて会食.

12 日 (木)
・沖縄 中部の sight seeing ののち，Mr. Pitt は東京へ向う.
・Mr. Histed は，マニラへ向う予定が，NW 便の不着のため変更の余儀なきに至り，沖縄泊.

13 日 (金)
・Mr. Histed と共に 朝 JLA 900 便にて 東京へ向う.
午後：本社.
・マレーシアーシンガポールータイ ケーブルの予備調査協力のため，派遣する人員の選定.
建設部 北村，橘田，海底線部 柴田の 各調査役 を人選.
・志村常務に 沖縄出張の模様を報告.
・TPC-1 グァムーハワイ間で 12 日に障害発生とのこと.
・保全部長と OLU レベル変動修理のための KDD 丸出勤時期について協議.
・技術課長より，新太平洋ケーブル計画シドニー会合の対処方針に関する社内打合せ(12 日午後，総企主催)に出席した状況の報告.
・業務課長より，表彰委員会の審議状況の報告.
・夜，NASC 役員の新年会.

14日
(土)
・京王プラザホテルにMr.Histedを訪ね，mutual aidに関するMr. Pittとの協議のメモランダムを届ける.

15日
(日)
・朝7時，京王プラザホテルにMr. Histedを迎え，羽田にて同氏の台湾向け出発を見送る.

16日
(月)
・成人の日のふり替え休日.

17日
(火)
・長距離大容量ケーブルの開発のための，開発体制，開発グループの編成について，研究所 中込所長 他と海建本部関係者間で協議.（13：30～15：00）
・シドニー会合(太平洋ケーブル関係)の対処方針に関する打合せ.（11：00～13：00）
総合計画部長 他.
・マレーシアTELECOM, Submarine Cable Section, Controller, Mohd Ali氏夫妻に対する志村常務招宴に出席.（環）.
夫妻は永年勤続(10年)の報償としての世界周遊の途次，日本に立ち寄り，NECの世話で，工場視察，二宮中継所，KDD本社の訪問，開催観光等を予定していたもの.

18日
(水)
・マレーシア Mr. AliのKDD本社訪問表敬に立会う.（10：15～10：40）
・太平洋ケーブル会議作業部会シドニー会合の対処方針に関する関係役員懇談会に出席.（15：00～17：00）.
大島副社長，木村，志村，福地，松本 の 各役員，関係部長.
・主任以上に対する部長招宴.（ストックホルム）

19日
(木)
・三井ビル副都心クリニックにて，海外渡航のための種とう再接種.
・NK方式分科会に出席のため，横須賀通研へ行く.
15：00～17：00会議.

20日
(金)
・太平洋ケーブル計画シドニー専門家委会合への対処方針について，役員会に尾畑総合計画部長と伺う.（11：40～12：40）.
・上記の審議結果について，会合出席者および関係者間で打合せ(13：40～15：00).
・志村常務担当の海外協力室，海建本部 各部の部長連絡会.（15：00～17：40）

21日
(土)
・出社.
・総企 井上 総合計画部次長　来訪.
TPC 計画シドニー専門家会合について，郵政電監室への説明のための提示資料に関し協議あり

23日
(月)
・海底線部内打合せ(調査役 以上). 11：30～12：30.
・資材部 部長 他と 日韓ケーブルにおけるCS-36M・TAGC付中継器の開発の件につき協議.
建設スケジュールに沿うためには，メーカーとのcontactを早急に行う要あり.
資材， 海建 両者でメーカーに趣旨説明のこととする.
・NASC 今井，石谷両課長より
機材契約のための業者折衝には台湾からも参加するが，その近辺で経理，資材の専門家会合を東京で開きたい，技術も東京でその時期に専門家会合を開き得るかどうか. 東京で開くためには，早急に招請をする必要があろう：技術会議を台湾でぜひ開かねばならぬ理由はないので，検討することとする.
・53年度設備計画の説明を労組に対し行なう際の関連質問に対する回答案について，役員，部長間で打合せ.（15：00～17：00）

24日 ・海底同軸ケーブルに関するNTT/KDD合同委員会の開催について，大島副社長に伺う．春斗，
(火) 国会等の状況を勘案し，3月17日(金)もしくは3月24日(金)を一応の予定日とし，
NTT幹事と協議することとする．
・太平洋ケーブル計画シドニー専門家会合の準備打合せ：13：30〜15：00.
・GNTC Mr.Rasmussenの招待あり．(ストックホルム．)

25日 ・日韓ケーブルに必要なT-AGC中継器の開発要請について，NEC，Fujitsuに示達．資材部主
(水) 催(10：00〜10：30).
・製造技術に関する問題が主体となるので，KDDが開発する形はとらず，メーカーの自主開発とし，KDDは必要な設計条件の呈示，方式関連の協議で関係して行く．
・新技術開進委に長距離・大容量ケーブルの開発を提案する件に関連し，システム経済化の検討結果を早急に“技術打合会”にて審議することとし，大島副社長の了解をとり，審議担当課長にarrangeを要請.
・三井大阪商船からの招宴(霞が関 三井クラブ)に出席.

26日 ・朝，三井ビル星歯科.
(木) ・常務・部長 連絡打合会．(14:00〜14:40).
・設備計画に関する労組説明(14:40〜15:05)
建設部長，海底線部 松田，猪股，広谷 同席.
海底線設備，沖ー台ケーブル，アルミケーブルについて説明.
・技術打合会(第9回)にて，海底ケーブルの経済化につき討議．(16：00〜17：00).
大島副社長，宮，志村，笹本 各役員．出席.
システム経済化と，長距離大容量ケーブルの開発について説明.

27日 ・太平洋ケーブル計画シドニー専門家会合 出席者 打合せ．(10:00〜12:00)
(金) 各議題について準備する資料の打合せを行なう.
・NASC取締会(14：00〜14：40)
・沖ー台ケーブルの技術仕様を事案決定.
NASC，資材部へ送付することとする.

28日 シドニー出張のための準備.
(土)

1月30日(月)〜2月9日(木)
太平洋ケーブル計画シドニー専門家会合 出席のため，シドニーへ出張.

10日 ・出張中の処理事項，懸案事項について，猪股技術課長より報告を受ける.
(金) ・志村常務にシドニー会合の状況を簡単に口頭報告.
・鈴木欽也君 NTTを退職のあいさつに来訪.
・身分証明書用 写真撮影.
・OLUケーブルの事前修理に関する役員会資料の検討打合せ．(14:00〜15:30)保全部 主催.

13日 ・NTT退職し，NECに入社した水口一氏あいさつに来る.
(月) ・NTT/KDD，海底同軸ケーブル合同委員会の幹事打合せ等につき，研究所 鍛冶副所長にTEL.

14日 ・OLUケーブルの事前修理の役員会資料を，大島，鶴岡両副社長に事前説明.
(火) ・海底ケーブル建設委員会 14：30〜17：00.
・沖縄における沿岸ケーブルの先行布設．について.

15日 ・OCC 滝鼻常務より，大河内賞の選に洩れた旨のTel.
(水) ・NTT 村上次長より，NK合同委の日取りについて3月24日が好都合とのTEL．あり，幹事間

打合せを 2月22日に行なう旨 協議.
・大島副社長にNK合同委を3月24日に開く旨，確認.
・村松業務課長より，4月1日創業記念日の社長表彰案件について，表彰委員会における審議の結果，海底線関係は状況不利との報告.

16日（木）
・NTT 村上次長にTel.　NK合同委開催を3月24日として進めることとする.
・役員会に，OLUケーブルの事前修理につき，石川保全部長とともに審議資料を説明.
・井上取締役に，OLUケーブル修理時の問題を説明.
表彰案件とのからみがあるとのこと.
・海底線部の関係者(猪股，石井，江幡，矢口，湯口)に，シドニー会合の概況を説明し，関係資料を渡す.
・尾畑部長　来訪，タイーマレーシアーシンガポール ケーブルの事前調査の件，および沖縄におけるケーブル先行布設の件を協議.

17日（金）
・杉本君より，日韓ケーブル陸揚地の再調査の報告.
・部長会.
社外表彰に関し審議.
・総企 井上次長：シドニー専門家会合 役員会報告について協議
・NASC 木下課長：沖ー台技術会議の準備打合せ.
・杉本副参事：アルミケーブルの53年度計画の郵政との契約問題の説明.
・建設部畠山調査役：大形ケーブル船の建造について説明.

18日（土）
・松本取締役より TEL.
沖縄におけるケーブル先行布設について，福地取締，木村常務に説明し，社長にもお話した，その結果.
・予備ケーブルとして外国と協議することでなく，将来計画に備えるものとしてKDDが施工しておき，万一の場合には障害修理にも当て得るものとする考えとすることとなった.
・なお，鶴岡副社長以下業務系役員には，沖ー本ケーブルのほか2条を要するかについて疑問を持っている方もあるので，技術面，経済面，政策面から この点をつめ，役員会にかけるよう進めるべきである.
・技術面は海建，その他は総企室で扱うこととして協議を進める.
・木村常務からは，沖縄中継所に6本(TPC-2，OLUHO，OT，沖本，他2)も集中することに問題はないか.
・予備としない場合，資産処理上の問題(減価償却ができない)がある.
・畠山，村松両君と ケーブル船建造に関する建設委員会資料について討議.

20日（月）
・志村常務の下で，ケーブル船建設に関する会議資料検討.
畠山役，村松課長，阿部次長.
・志村常務に報告.
1. OLUケーブル事前修理 役員会審議の状況
2. 創業記念日における表彰の件.
3. 沖縄におけるケーブル先行布設.
4. 沖ー台技術会議中の常務招宴.
・研究所 鍜冶副所長，中井室長と，NK同合委の幹事間打合せの事前協議.
・海建委．拡大技術部会：14：00～17：00
(大島副社長 休みのため，予定の海建委員会を取り止め，技術部会に切替え)
ケーブル船の建造，および 日韓陸揚地調査報告.

21日（火）
・役員会にて，太平洋ケーブル計画シドニー専門家会合報告.（尾畑部長と共に).
・志村常務より，日韓ケーブル陸揚点沿岸調査の実施スケジュールと，建設スケジュールの関係について検討すること.

・尾畑部長より：松本取締より沖縄先行布設について役員会資料作成を進めるよう話しがあった，海建 業務課長と総合計画課長と話し合って進めることとする.
・沖－台技術会議の準備打合せ.（13：30～17：00）
海建本部関係者.

22日（水）
・佼成病院にて，胃カメラによる検査
・NTT技術局 訪問(11：00～13：00) 鍛冶 研究所副所長，中井室長 同行.
村上次長，宮内部長 ほか，と 合同委員会会合について，幹事間打合せ.
・午後，沖台ケーブル技術会議の準備.

23日（木）
・沖縄－台湾ケーブル 技術会議. 夜，志村常務招宴.

24日（金）
・同上.

25日（土）
・午前：会議
・午後：台湾側代表とOCC新山下工場 視察.

27日（月）
・沖台ケーブル．機材調達に関する会議. 夜，NASC社長招宴.

28日（火）
・沖－台ケーブル 機械調達のための 業者接衝. 夜，古橋常務招宴.
・ケーブル船建造および日韓ケーブル陸揚地調査に関し，海底線建設委員会が開催されたが，沖－台ケーブル会議 出席のため，松田次長に代理出席させる.

3月

1日（水）
・沖－台ケーブル 機材調達のための業者接衝.（10：00～15：30）.
価格について 合意に達す.
・沖－台ケーブル技術会議：討議終了(16：00～18：00).

2日（木）
・沖台ケーブル技術会議 議事録確認(11：00～14：00).
・会議を終了す.
・沖縄におけるケーブル先行布設に関する 総合企画会 に出席.（14：00～16：00）

3日（金）
・志村常務に，沖－台ケーブル会議の状況と結果を報告.
・大島副社長より，NK合同委員会に関し，① 福地取締を委員に加える件. ② 懇親会開催の件. ③神保電気通信監理官を招待する件につき 了承を得る.

4日（土）
・管理部 内野次長より，沖縄漁協との沖－台ケーブルに関する接衝が進展していないとの話しをきき，書面で状況を報告するよう要請.
・学会技術図書原稿の校正.

6日（月）
・OLUケーブル事前修理について，KDD丸の作業状況報告に基づき，志村，笹本両役員を交え関係者間で打合せ.（10：00～12：00)保全部主催
・海底線部，部内管理者打合せ.（15：00～16：30）
・NASC増田社長に，沖台技術会議の報告.

7日（火）
・OLUケーブル事前修理に関する打合せ.（13：30～15：00） 保全部主催.
・KEC村本氏来訪. 25年史の原稿修正について.
・NK方式分科会の資料について湯口君と打合せ.

8 日　・OLU ケーブル事前修理に関する打合せ．(9：30～11：45)　保全部主催．
(水)　・中野税務署へ確定申告書提出．
　　佼成病院で・胃カメラ検査の結果をきく．

9 日　・OLU ケーブル修理打合せ．(9：30～11：00)保全部主催．
(木)　・NTT 村上次長より TEL：NK 合同委員会を予定した 3 月 24 日に，電波技術審議会が開かれることになったので，日取り変更について相談あり．
　　・部長会．
　　・尾畑部長，関 管理部長と，沖縄における漁業折衝の推進の問題について協議．
　　管理部長に，接衝状況を逐次知らせてほしいとの要望．
　　・NK 方式分科会(第 28 回)．於 KDD
　　・先輩に感謝する会

11 日　・NTT 村上技術局次長より TEL．
(土)　NK 合同委員会の日取りとして，4 月 3 日(月) or 4 月 10 日(月)がどうか．
　　KDD 首席委員(大島副社長)の都合を確かめ 別途返のこととする．

13 日　・OLU 修理 打合せ．(9：30～11：00)．
(月)　保全部より状況の説明．
　　・志村常務より，光ファイバーケーブルについて．
　　1．NTT は古河，住友，藤倉，OCC と共同研究の締結を 3 月末に結ぼうとしている．
　　2．OCC より，KDD，NTT 間で話し合いを希望．
　　3．大島副社長より，NTT の意向打診の指示あり，NK 共同で研究開発に当ることについて，総企，技計池田部長に，KDD 社内における開発体制の推進についてその後の状況を聞いた結果，池田部長より NTT 技術局村上次長に contact をとることとなる．なお，松本取締の意向により，NTT 訪問の際は池田部長に同行することとなる．

14 日　・社長室 富士 審議担当 1 課長 より，日本工業新聞の情報による英国の海底ケーブル布設用
(火)　新形装置について問い合わせあり．
　　・日韓ケーブル会議・作業部会に対する対処方針打合せ．(総企 主催)．
　　14：00～．　5 時に退席．
　　・沖縄における漁業折衝の状況報告と対策打合せ．(管理部主催)．
　　古橋，志村 両常ム，識名 沖縄通信事ム所所長ら．15：00～18：40．
　　管理部長，同次長　ほか．
　　・識名所長に対する招宴に出席．

15 日　・NTT 技術局 村上次長に TEL．
(水)　合同委員会 日取りの件．
　　・増田 NASC 社長に，沖縄の漁業折衝状況を報告．
　　・識名 沖縄通信事ム所長 に対する NASC 社長の昼食懇談に同席．
　　・国際電気通信青書の編集委員会　14：00～16：00．
　　・OLUHO 修理の打合せ．15：00～16：00．志村，笹本，石川，大山，鈴木．

16 日　・技計 池田部長とともに，NTT 技術局 村上次長を訪問．(10：00～11：00)
(木)　1．光ファイバーケーブルの研究開発に対する NTT/KDD 間の協調について．
　　2．CS-36M 方式の長距離・大容量化に対する協力体制について．
　　検討課題を具体的に分析し，NTT としてなすべきことを協議していったらどうか，
　　また，これらの議論は方式分科会で行なったらどうか．(KDD)
　　3．合同委員会の日取りについて．
　　4 月中は，春斗，国会の関係があるので，日取り設定が困難であるので，とくに急ぐ問

題がなければ5月連休明けまで延期するか.
・OLU修理：14日23：50 終了.
・沖縄の漁業折衝の件について，志村常務，関管理部長より，TEL.
昨日，社長，鶴岡副社長，古橋，志村常務が協議したが，日中問題の見直しがつくまで，表立った動きはさけるよう社長の意向が示された，とのこと．また，沖縄－台湾ケーブルの表現もさけよとのこと.

17日
(金)
・部長会.（10：00～12：00）
・沖縄における漁業折衝の問題について，関係役員部長間打合せ.（13：45～15：00）
・NTT村上技術局次長と合同委員会開催を5月に延期する件で電話連絡.
・職員部長より，業務課へ主任1名を配属させる件につきTel.あり.
3月中に 桂 佑誠君(慶大43年卒)を異動させるとのこと.

20日
(月)
・海底線部内打合会(11：00～12：30).
各ケーブルプロジェクト，開発，海外協力，要員等に関し，連絡打合せ.
・沖縄における漁業折衝関連の関係役員懇談会(13：45～14：15)
鶴岡副社長，志村常ム，福地取締，総合計画，管理，海建 各部長
沖－台を表面に出さず，沖－本ケーブルの名前で今後の処理を計れぬか，との社長の意向に対し検討.
・総合企画会 に出席(14:20～15：00)
長距離・大容量ケーブルの開発に対する役員会資料の検討.

21日
(火)
祭日(春分の日)

22日
(水)
・日韓ケーブル 作業部会合 開始.（10：00～）
韓国側代表台とのopening ceremonyにのみ出席.
・沖縄における漁業折衝関連の関係役員懇談会(15：30～17：00)に出席.
鶴岡副社長，古橋，志村，福地 各役員.
総合計画，管理，海建本部　各部長.
沖－台を沖－本におき代える際の問題点の検討.
・東北大 永井名誉教授の学士院会員 選任 祝賀会(18：00～20：00)
於 霞ヶ関ビル，東海大校友会館.

23日
(木)
・NASC/NEC間で機材発注の契約書に調印.（署名)11：00～.
NEC 田中社長，OCC 宮川社長，Fujistu 新 副社長　列席.
・保全部長と OLU修理後の調査委員会の設置について協議.

24日
(金)
・KDD丸へ，回収したOLUの中継器およびケーブルの被傷状況を見に行く.
保全部 大山 次長 同行.（9：40～10：30).
・日韓ケーブルMOC代表と昼食(住友ビル，大同門).
・OLU修理報告打合せ.（保全部 主催）　14：00～16：00.
修理報告.
被障ケーブル，中継器等に対する調査の進め方.
・日韓ケーブルの第2回作業部会の報告と，ケーブル会議への対策に関し，関係役員・部長間打合せ.（総企室主催)16：30～19：30

25日
(土)
休み

27日
・日韓ケーブル会議(第5回)に出席. 10：00～12：00. 14：00～18：00.

(月)　・OLU ケーブルの修理に関係した，石井，鈴木，嶋谷，および，タイーマレーシアーシンガポールケーブル調査に携わった柴田君らと昼食慰労．(12：30～14：00)
・人事異動，業務課に 桂 佑誠君 主任として配属．
・日韓ケーブル会議 韓国代表 に対する福地取締招宴(ホテルオークラ桃花村)に出席．

28 日
(火)　・日韓ケーブル会議　に出席．(10：00～12：00)
ミニッツの確認．
・OLU ケーブルの障害原因調査対策について保全部長，建設部長と協議　担当者を選定．
・志村常務により，KDD 創業記念日式典に招いた ATT 等の代表と，ケーブルシップの問題について社長が意見交換をするための資料を作るよう話しあり，村松業務課長に資料案作成を指示．

29 日
(水)　・NASC 取締役会．11：00～12：00．
・社長室　渉外担当大矢課長より，国会逓信委における答弁資料として日韓ケーブルの陸揚点に関する資料作成の依頼あり，松田君に作成指示．
・日韓ケーブル陸揚地選定に関連する沿岸部調査実施の方針に関し 関係役員懇談会で打合せ．(13：30～15：00)．
志村，古橋常務，管理部，総合計画部，海建本部 各部長，関係者．　出席．
スケジュールから云えば，浜田沖の調査のみしかできないが，山口県に陸揚することは，国内連絡線の経費増，海域の状況から好ましくないので，浜田沖の調査の結果が好まければ，浜田に選定する線で社長に説明，了承を求めることとする．

30 日
(木)　・NEC 斎藤，田畑両氏 来訪．
OLU ケーブル中継器の調査，CS-36M の T-AGC 開発等につき協議．

31 日
(金)　・部長会．10：00～12：20．
・東北大 松尾教授 来訪．昼食シャンボール．
大学にて海底ケーブルの話しをするよう依頼あり．
・松本浩太郎氏より TEL を受け，それにより森藤氏に TEL．
・研究所 新納君 来訪．18：00～．
光海底ケーブルに関し，調査動向の報告あり．

4 月

1 日
(土)　・会社創業 25 周年 記念式典．
帝国ホテルにて，11：00～12：30．
接待役として，宮崎郵政政務次官 を 式場案内．
祝賀パーティ．12：30～14：00．

3 日
(月)　・海底線部内打合せ．10：30～12：20．
・志村常務より，ケーブル船建造と保守の問題について，KDD 首脳から ATT 首脳へ出すべきレターの案を作成するよう指示．
KDD 創業記念式典に招いた ATT ニコルズ副社長を京都における社長招宴に案内する際，木村常務から Mr. Nichols に上記の件を話すことになっているとのこと．レター案の検討について，国際部，保全部と協議のうえ進めるよう村松業務課長に指示．

4 日
(火)　・OLU ケーブルの修理に伴う経費等の処理に関する打合せ(保全部主催)．
経理，資材，国際，海建，保全の各部．
＊中継器の異常を調査する件について，契約の関連から ETPI に連絡し，KDD が委託されるよう取り運ぶべきか否かが論議される．
・金門製作所 斎藤二郎 常務 来訪．
・KEC 玉置常務理事 来訪．

KEC 図書の執筆の促進について協議.
9 月末までに原稿を提出するよう要望あり.

5 日
(水)
・日韓ケーブル陸揚地選定のための浜田沖前面海域調査. およびその結果に基く陸揚地選定の社内決定処理分担について 建設部長と協議し, 志村常務の了承を得る.
・KEC 技術図書の執筆促進のため, 執筆担当と今後の進め方について打合せ. (14:45～17:00)

6 日
(木)
・ケーブル船利用および建造に関し, 志村常務の下で, 保全部長, 海底線部業務課長, 国際部 協約課補佐らと協議. (10：00～11：00)
Mr. Tuttle からの Letter を保全部長より催促したところ, 来週には KDD に届くとのことで, それを待ち, 検討後, 建設委員会等を経て, ATT と折衝するための方針を打ち出すこととなる.
・業務課 桂主任の歓迎昼食. 業務課長 以下.
・技術課長, 補佐に, 1. 日韓ケーブル陸揚地選定の建設委員会資料, 役員会資料を今から準備すること, 2. 沖台ケーブル第 3 回技術会議の対処方針案を準備すること, を指示.

7 日
(金)
・部長会なし.
・技計 池田部長と協議.
1. 長距離大容量ケーブルの開発.
TPC-3 の動向を見定めてから開発に取り組むべしとの社長の意向をうけると, 技計としては当分静観せざるを得ない. 海建本部としては, スケジュールの点から, 対外的な活動は置いて, 社内での検討で手がつけられるものは進めていきたい.
・なお, 社長が云われたという, メーカーの手を充分借りることは考慮し, また NK 合同委員会における公社への働きかけにも充分この情勢を配意する.
2. 日韓ケーブル陸揚局の保守体制
日韓ケーブル陸揚地の選定後,既設 OH 局と関連して保守体制を決定することが労務面, 局舎および機器の設計面から急務となるので, 両者協調して, 社内関係部門との協議のうえでこの問題に取組む必要がある.
・以上の点を志村常務に報告し.
1. 長距離・大容量ケーブルの開発については, 社内で当面の検討を進めることを大島副社長, 松本取締にも了解してもらうことが望ましく, 光ケーブルの開発について近く関係役員懇談会が開かれるので, そこで了解をとったらどうか.
2. 陸揚地の選定については海底線部の所掌であるが, 既設局との関連を考慮した保守体制の問題もあるので, 総企室と協議し, 何れが事務処理を主管するかを決めればよい, とのコメントを得.
・猪股課長と共に, NASC/KDD 間建設委託の細目協定案を志村常務に説明.

8 日
(土)
・KKON ゴルフコンペ. (厚木国際).

10 日
(月)
・日韓ケーブルの Technical Standard, Technical Specification の draft について, 猪股 矢口, 松本(一)君らと討議. (14:00～16:00)

11 日
(火)
・日韓ケーブル　開発に関するメーカーとの打合せ. (13:30～15:30)
富士通と, 方式, 端局, 中継器に関する開発問題の打合せ.
・富士通 奥村部長と懇談.
1. OLU の障害中継器について：
2. リビアケーブルには KDD 方式の給電装置を使用することとしているが, その了解を KDD からとているが, 調査のうえ回答する.
3. 各社のケーブル計画の情報交換を近々に行なう. (5 月中旬以降)
・OLU 障害修理の参加者の慰労(志村常務招宴).

12 日
(水)

・OLU 障害事前修理の役員会報告資料案の検討打合せ(保全部主催)9：30～12：40.
・志村常務の了解を得る.
1. タイーマレーシアーシンガポール ケーブル海洋調査に海底線部より 柴田調査役を派遣する件.
2. 沖ー台ケーブル技術会議に，NASC の身分で出席のため，台北に赴く件.
・NEC 田畑氏 来訪
・インドネシアーシンガポール間ケーブル応札の件について，志村常務あて文書(写)を持参.
・湯口調査役より，KDD 研究所における光ケーブル関係の研究活動状況の報告を受ける.
今後，海底線部の若手間で勉強会を開き，基礎知識を身につけることを示唆.
・総企 尾畑部長ほかと，沖ー本ケーブルの建設費，太平洋ケーブル作業部会第 2 回会合への出席等につき協議.

13 日
(木)

・NEC と，日韓ケーブルにおける開発問題について技術打合せ. (9:30～11:50).
方式，中継器，端局 等に関し，意見交換.
・管理部 内野次長とともに，古橋常務に，アルミケーブル現場試験関連の，二宮における漁業折衝の問題を説明. (社長に対し，KDD が何故漁業折衝を引受けることになったかの説明のため).
・建設部 阿部次長より，日韓ケーブル陸揚地選定のための浜田沖沿岸部調査の実施について労組本部へ説明することとなったことによる，資料作成について協議あり.

14 日
(金)

・部長会

15 日
(土)

・電子通信学会誌，総合報告　ゲラ刷りの校正.
・総企 深田課長より，科学技術庁から山村計測研究室長が給電装置の開発で賞を受けることについて，NTT より合同委員会で協力関係にあるのに 了解を求めてないとクレームがあったとのこと.

17 日
(月)

・志村常務に報告：アルミケーブル関連の二宮における漁業折衝に対する社長の疑問に対する処理について.
・部 打合せ. ((10:30～12:00)
松田次長に，日韓ケーブル陸揚地選定の決定処理のための役員会資料の早期検討を指示.
・KEC 発刊予定の技術図書の編集・執筆について，KEC と打合せ. (13:30～15:00)
・明日の参院逓信委に於いて KDD が参考人として召喚されているため，その資料準備に待機.
沖ー台ケーブルの保守を NASC/KDD 間でどのように取扱うかについて，鶴岡副社長，志村常務より問い合わせあり. 帰宅 10:00.

18 日
(火)

・日韓ケーブルの Tech Standard について猪股，矢口両君と討議.
・沖ー台ケーブル第 3 回技術会議の対処方針の事案決定書作成.
・ITDC　Mr. Yang より Tel. ケーブルの工場視察日程の調整を希望してくる.
・千葉高大 松本浩太郎 来訪. E. Czuber 著の図書を持参.

19 日
(水)

・午前，佼成病院にて，胃カメラによる検査.
・沖ー台ケーブル第 3 回技術会議の出席者間打合せ. (15:00～17:00)　於 NASC.
議題案につき 逐條 検討.

20 日
(木)

・ケーブル船建造に関し，ATT Mr. Tuttle より志村常務あて，建造の要を認めぬとの見解を示した letter が来信. その対応策につき，関係役員，部長 間で協議＊.
＊出席者，志村，笹本，高松，石川，鈴木. (15:30～17:00)

返信を出すための当面の作業を海底線部中心(主管 業務課)で行なうこととなる.
総企 尾畑, 池田 両部長にTel.し, 作業への総企室の参加を要請.
・NTT技術局 村上次長とNK海底同軸ケーブル合同委員会の開催日取りにつき協議. 5月22日(火) or 5月26日(金)を目標として, 双方の 首席委員 ほかの都合を確かめることとする.

21日 (金)
・副参事定期管理表, 担当役員へ提出
・N・ K海底同軸・合同委 日取りにつき, 大島, 志村, 笹本, 福地 各委員に5/22 or 5/26の都合をきき, 何れにても可との回答を得.
猪股技術課長にNTTとの連絡を指示.
・日韓ケーブルの陸揚地選定のための浜田前面海域調査計画につき, 関係者間打合せ.
(志村常ム, 建設部長, 次長 ほか). (16:30～17:30)
・上記関連で, 調査結果に基づく陸揚地選定のための審議資料の作成準備を進めるよう松田君に指示.

22日 (土)
・NASC ゴルフコンペ, 武蔵野 CC.

23日 (日)
・沖ー台ケーブル技術会議(第3回)に出席のため, 台北へ出発.
出張期間：4月23日～4月29日. NASC取締役として出張.

24日～25日 技術事項の協議.

26日 (水)
・ITDC/NEC間の契約になる, 頭城側 端局, 連絡線用端局について, NECとの業者折衝がCTCの主宰で行なわれ, これに出席.

27日 (木) 頭城 陸揚局の 建築状況視察

28日 (金) 技術事項の協議, 議事録確認, 会議終了.

29日 (土)
・台北 発. 帰着.

5月

1日 (月)
・猪股技術課長より, 出張中の処理事項につき報告を受ける.
1. NK合同委の日取りについてのNTTとの連絡状況.
2. 争議の解決.
3. 日韓ケーブルのtech standard, tech speification(何れもDraft)の事案決定処理の推渉状況.
・新技術開発推進委員会に 出席. (14:00～17:00)
・3類, 4類管理者の定期管理表, 異動昇進上申 作成.

2日 (火)
・アルミケーブルの試験システム布設の準備として, シミュレータケーブル撤去工事を行なうに際し, 労組へ事前説明：建設部長とともに出席し, 説明(11:10～11:40)
・尾畑総合計画部長より, 新TPC計画バンクーバー作業部会会合の準備, および沖ー本ケーブルの郵政・公社との話し合いの準備に関し, 技術面での検討の依頼あり.
・古橋常ムより, 日韓ケーブルの機材輸出事ムに 商社(三井物産)を使うことの可否, 能否につき話しあり.

4日　・アルミケーブル開発会議資料の事前検討.
(木)　・アルミケーブル現場試験について労組への説明，二宮中継所への説明を行なうことに関し，徳江課長と協議.
5月8日の開発会議で計画確定後，上記の説明をすべきであると話す.
・業務課長より：国際部協約課長との話しで，日韓ケーブルの建設保守協定の締結を6月10日にしたいが，郵政の認可を得るための説明を早期に行ないたいので，陸揚地選定を5月中旬に決定できぬかとのこと.（監理官が5月18日～6月6日．海外出張で不在のため）.
全体計画の総合調整の問題になるので，総企室を通して，関係各部で協議すべき問題であることを指摘.

8日　・海底線部内打合せ.（10:30～12:10）.
(月)　・沖－台 技術会議の状況報告(石井補佐)
・業務概況(猪股課長).
・業務予定表の作成(3ヶ月分)を指示.
・新TPC計画作業部会バンクーバー会合への対処要望.
・沖－本ケーブルの技術面の検討を要望.
・新海底同軸ケーブル開発会議(第4回)，同推進連絡会議(第5回)合同会合に出席(14:00～16:00)於 郵政省，大島副社長 出席，志村常務 海外 出張(パラグワイ)のため欠席.
・研究開発推渉状況報告，ならびに，現場試験実施案の審議.

9日　・海底同軸NK合同委員会の資料検討.
(火)　・NASC 増田社長に 沖－台ケーブル技術会議の報告.

10日　・古橋常務より，本日の国会(衆院逓信委)への参考人喚問で，日韓ケーブルの陸揚地選定
(水)　に関する質問があるので，back groundを知りたい，とのことで，CS-36M方式の諸元，現在実施中の浜田沖前面海域調査の計画に関する参考資料を提出.
・新TPC計画のバンクーバー会合への対応のため，新ケーブル計画における技術面の検討について，石井，江幡，湯口 君らと協議.

11日　・総企室 尾畑総合計画部長と協議.
(木)　1. 新TPC計画バンクーバー会合への対応について：network案に対するTech evaluationについての検討の考え方に関し意見交換.
2. NK合同委に提出する 資料「KDDにおける海底ケーブルの近況について」の案を示し，沖－台，日－韓，新TPCに対する紹介内容について意見を求める.
3. 沖－本ケーブルに関する技術面の検討について，総企 技計部が海建，保全，網管 各部の中心となることを希望し，とり敢えず，技計部長に話すこととする.

12日　・国際部より，日韓ケーブルの建設保守協定の郵政省認可申請の日程上，陸揚地の決定処理
(金)　を本月末までに進めてほしいとの要望あり，国際部の希望として了知しておくこととする.
・NTT村上技術局次長より，NK合同委に提出の「CS-36M方式の国際ケーブルへの適用について」の資料に関し，KDDよりNTTへの何らかの協力依頼方の表現がほしいとの話しあり，一応検討することとする.
・OLUケーブルの事前修理後の中継器調査結果の中間報告打合会合.（14:00～16:00）
KDD丸船上における中継器測定系の不備により異常現象が起きたことが調査結果として報告され，中継器は正常であることが判明したので，今後の解体作業は実施しないこととする．この中継器は予備品として活用することにすべきであるとの意見が出，(保全部長)海底線部長として同意見を示す.
・志村常務に報告.
1. 沖－台技術会議(第3回)の状況.
2. アルミケーブル開発会議・推進連絡会議の合同会合(5月8日)の状況と，実験システム， TPC-1と交差する件をATTに了解してもらうための処理について保全部と協議中

であること.
3. NK 合同委員会の開催(5 月 26 日)について.

13 日
(土)
・出社.
NK 合同委資料の作成.

15 日
(月)
・NK 合同委員会に提出する資料に，沖ー台ケーブル，日韓ケーブルについての紹介をどのようにするかに関し，尾畑部長のコメントを求める.
また，CS-36M の開発問題について，池田部長のコメントを求める.
志村常務，福地取締にも意向をきく.
上記，とくにコメントなし．なお，福地取締より，国会の会期延長期間が明確になる時点(17 日)に，沖台ケーブルの沖縄における作業を再開してよいかの判断を　　郵政省が下すとのこと.
・志村常務より.
元 HTC の Mr. Izumo より，TAT-5 における repeater pig tail 部の corrosion 障害に関する ATT の調査資料が内密に送られてきたとのこと．江幡，湯口両君に検討方を特命する.
・神保監理官に NK 合同委終了後の懇親会について案内.（現在の予定では，当日別に予定があるので，出席は困難とのこと).
・台湾 Mr. Yang より Tel.（17:00).
台湾側の工事に関する三菱建設との negotiation(5 月 23 日)，shore conduit の試作品の検査等への立会いの案内，訓練やケーブル検査への要員派遣等について，追って，TLX をよこすとのこと.
・シドニー事ム所秘書の Mis. Bronwyn Bennett,その友人の Miss Pauline Fawkner を，業務課長とともに接待.（六本木，ストックホルム)

17 日
(水)
・OLU ケーブルの修理の際に生じた中継器の異常が，現在引合い折衝中のシンガポールーインドネシアケーブルで，日本の中継器に対する疑問の因となっているとの話しが富士通よりあり，保全部長，志村常務とも協議し，至急，CW，ETPI に中継器は正常である旨を通知することとする.
・労組に対し，沖ー台ケーブルの状況を説明し，端局取扱いに対する訓練の実施に了解を求める.
保守体制について会社側の考えを明らかにするよう求められる.（10:00～11:00)
・NASC 取締役会(11:00～12:00).
・大島副社長に，NK 合同委への提出資料を事前説明：CS-36M の適用等につき，内容的に問題なければ，表現で NTT を刺戟することがないようにすべしとの指摘あり.
・総企室 河合課長 来訪：新 TPC 計画におけるトラヒック上の必要建設年次と実施可能建設年次とのズレをどう取扱うかの問題について討議.
・志村常務より.
監査報告によると，沖縄中継所に予備品が多いとの指摘がなされているので，検討を要す.

18 日
(木)
・富士通小山工場へ出張
アルミケーブル用中継器，ならびに 沖ー台ケーブル用中継器の製造状況視察.

19 日
(金)
・部長会
・新 TPC，バンクーバー会合への対処方針案作成のため，総企室で検討したケーブル網構成の分析，評価結果について，木村常務以下会合出席者間で打合せ.（14:00～17:00).
・志村常務より，福地取締が MPT との協議の結果，沖ー台ケーブルの沖縄における作業は再開できることになったとのこと.
・部レク参加のため，小諸 千曲山荘へ.

20日
(土)
・海底線部 レク行事.(軽井沢).

22日
(月)
・沖ー台ケーブル，日韓ケーブルの建設作業推進に関する関係役員・部長 打合せ.
(総企室 主催，11:10～12:40).
MPTより沖ー台，日韓両ケーブルの推進についての意向が示され，それに基づいて今後の作業を進めることとなった.
・海底線部打合せ.(13:30～14:40)
上記の関係役員打合せの結果に基づき，海底線部で進めるべき作業について次・課長に指示.
・志村常務に，日韓ケーブル陸揚地を決定してゆくための社内合議について諮り，了承を得る．すなわち，5月26日(金)に両副社長以下関係役員の会議をもち，浅海部調査の結果を報告し，決定への処理について了解を得ることとする.
・台湾より来訪の，Mr. Lee 以下を招宴.(香港飯店).

23日
(火)
・大島，鶴岡 両副社長に，5/26の会議 出席の了承をとる.
・TPC,バンクーバー会合における技術事項の検討について，石井補佐，江幡，湯口 両調査役と討議.
・TAT-5におけるRep. の電食障害の調査資料の検討結果について，江幡，湯口 両君からきく.
・総企 河合課長より，ATTから送付のケーブル網の計算結果の資料を受領.
・TASIのタンデム接続について，網管部 十二課長にきく.
・健康診断：受診
・OCCの招宴に出席

24日
(水)
・石井補佐とともに，新TPCのルート案に対する技術事項の検討結果について，
志村常務に説明.
・研究所 太田電子回路研室長にTEL. DSIについてきき，資料を依頼.
・アルミケーブルの現場試験実施について労組説明の要あり，労厚部との協議状況について杉本副参事より報告.
・日韓ケーブル陸揚地決定を進めるための処理手続き，所要文書の作成について 松田次長と協議.
・NASCより，木下課長(訪台中)からの情報として，三菱建設とITDC他との価格折衝が合意に達したとのこと.
・富士通 三村営業部長 来訪：日韓ケーブルのMain Contractorとして富士通が内定したとのこと.

25日
(木)
・CS-36Mの長距離大容量化の所要期間およびTASI-Cの経済性について 志村常務に説明.
・新海底同軸(アルミ)ケーブルの布設工事について 労組説明を求められていたが，文書 提供で了となる.
・TPC,バンクーバー会合の対処方針に関する審議を，海底線建設委で行なう.(15:00～16:30)
総企室 主催.
・成城 高校 クラス会(文，理 合同).パレスホテル.

26日
(金)
・日韓ケーブル陸揚地の選定について，関係役員懇談会で審議.(10:30～12:40).
浜田沖沿岸部調査結果の報告と，それに基く 浜田久代を陸揚地に選定することの可否，及び，日韓，沖台の建設スケジュールについて審議.
・海底同軸，NK合同委員会(第8回)：KDDビル，15:30～18:00.
18:00より懇親パーティ.

27日 研究所，ゴルフ コンペに参加.

(土)

29 日 (月)
・古橋常務より，浜田久代における漁撈活動から見て，ケーブル布設ルートとして問題ないかと質ねらる．漁法に応じて安全を図る工事をする旨，回答．(11:50～12:30)
・志村常務に，日韓ケーブル陸揚地選定についての社長説明に関し資料説明．
古橋常務了承のうえで，社長に説明することとする．(15:10～16:30)
・バンクーバー会合(TPC 計画)へ対処する件についての関係者打合せに出席(総企 尾畑　部長，井上次長，塚田，河合課長，国際部 林課長ら)．

30 日 (火)
・TPC 計画，バンクーバーSG 会合への対処方針案の審議を役員会でうける．
総企，尾畑部長とともに出席．
・日韓ケーブル陸揚地を浜田(久代)としたい旨の社長説明．(16:30～)
志村常務に，建設部長と共に同行，社長了承と理解．

31 日 (水)
・日韓ケーブル陸揚地 決定のための事案決定文書を作成．
・大形ケーブル船建造と，ケーブル船利用協定の改訂問題について．
国際部長，保全部長と協議．(14:00～15:40)．
ATT との折衝を早急に進める要ありとの結論．
・上記の件を志村常務に報告し，ケーブル船建造問題は総企室中心に進めることが望ましいので，尾畑部長に協議．
志村常務からは，両副社長，福地取締役に話すこととなる．

6 月

1 日 (木)
・沖ー台ケーブルのスケジュールに見直しの一案として，台湾側から布設する案について建設部長と協議．
・金門製作所 斎藤(二郎)常務来訪．
・ケーブル船建造に関する問題を進めるための社内態勢体制について，関係役員懇談会を急きょ開くこととなり，両副社長以下の都合をきき，準備．

2 日 (金)
・NASC 石谷，今井課長から 機材輸出の問題の説明をきく．
来週，米沢参事官が帰国後，早急に問題の解決を計ってもらうこととする．
・ケーブル船建造について検討する社内態勢に関し，役員懇談会で審議．(10:45～11:30)
両副社長，関係役員，部長　出席．
・上記に関し，国際部長と，総企室に進めてもらうための目標として，ATT/KDD 間の会議の開催予定期日，議題 等を定める件につき協議．(常務指示による)
・阿部，松田 両次長に，アルミケーブル陸揚時の二宮における応待について 措置を進めるよう指示．
・松村常務課長に，ケーブル船建造の件に関し，総企への積極的協力を指示．
・猪股課長に，沖ー台ケーブルの機材輸出の問題と，工事スケジュールの関連を NASC，建設部と協議のうえ，明らかにしていくよう指示．
・石井，江幡，湯口 両君から，TPC，バンクーバー会合関係の技術関連資料の説明をうける．

3 日 (土)
・台湾出張中の木下君から Tel.　状況の報告あり．
・TPC 計画 バンクーバー会合への対応について，出席者間打合せ．(10:40～11:30)
(木村常務，尾畑部長，林課長．)

5 日 (月)
・新太平洋ケーブル計画バンクーバー会合に出席のため
成田空港より　出発．

7 日～13 日
会議

16日　帰国
(金)

19日　・志村常務，増田NASC社長に帰国報告.
(月)　・松田次長，村松課長，猪股課長より，出張中の処理状況について報告をうける.

20日　・沖ー台ケーブルの台湾側陸揚ケーブルの保護について，志村常務のもとで建設部案中心に
(火)　討議.
・水深50m以深もケーブル保護上，埋設するかについて，必要性と可能性をなお検討のこととする.

21日　・沖ー台ケーブルの深海部布設を，台湾側から行なうための問題点について 海底線部，建設
(水)　部間の関係者で協議.（13:40～15:10）
・金門製作所 斎藤二郎氏より TEL.

22日　・アルミケーブルの布設後のシステム試験状況を視察のため，二宮中継所に出張.
(木)　湯口，増山，大原君と食事.
・帰路．東京逓信病院に入院中の 森田海洋課長を見舞う.

23日　・部長会.（10:00～11:30）
(金)　・KEC 発刊の技術図書“国際海底ケーブル通信”の編集打合せ(13:30～16:00)
・志村常務，KCS小林部長，建設部長，関(光)部長 ら.
・沖ー台ケーブルの台湾側陸揚工事スケジュールについて 海建本部関係者で協議.
(16:00～17:00)
・猪股課長 より.
内部監査において指摘のあった沖縄中継所における予備品の管理について，沖縄中継所，保全部にもきいたところ，
固定資産となっている予備品を現場保管していることの是非が問題となったもので，数量が多い点が問題となったのではない．管理方法について，本社保管となし得るかにつき保全部，資材部で検討中.
なお，OLU－LUHOの予備品量を比較したが，数量的にOLUが多いことはない.

24日　・出社.
(土)　・星歯科にて 定期健診.
・金門 斎藤(二郎)氏と会い，彼の個人的問題について 話しをきく.

26日　・海底線部　管理者　打合せ.
(月)　・KEC図書の原稿(基礎技術編)をCheck.

27日　・役員会に尾畑部長とともに出席し，太平洋ケーブル計画バンクーバー会合の報告を行なう.
(火)　社長より，二宮に新ケーブルを上げることの問題が云われ，日本ーハワイ間ケーブルの場合は，もっと北の方(例えば高萩付近)がよいようだが，なお 選定には充分慎重な調査・検討を要する旨，述べる.
・日韓ケーブルの当面の作業スケジュールについて，総企室主催の打合会で討議.
(14:00～16:30)
海洋調査，システム設計，ケーブル会議，調達関係の作業.（引合書発出から，契約まで）等のスケジュールにつき，海建，資材部，技計 等 関係各部間で討議.

28日　・石川保全部長と，OLUケーブルのレベル変動再発について協議.
(水)　・研究所 中井室長と，KEC図書の基礎技術編原稿の検討結果について打合せ.
・沖ー台ケーブルに関し，共産党山中議員が6月29日内閣委員会にて質問するとのことで，

郵政省電監室 米沢参事官より，現在の建設状況について問い合わせあり.
・台湾側陸揚工事用機材の輸出許可，ようやく下りる.
・国会，内閣委員会における 郵政省答弁に協力のため，待機.（21:00 迄）

29 日
（木）
・KDD 株主総会.
・NASC 株主総会，引続き 取締役会.
・沖ー台ケーブル台湾側陸揚工事に際し，台湾へ出張する件につき，志村常務，NASC 増田社長の了承を得る.
・志村，笹本両役員より，OLU ケーブルのレベル変動再発の徴候が現れた件を社長に報告するための資料作成について，保全部と協議するよう指示あり，直ちに 江幡調査役に案作成を指示.
・夜，NASC 社長招宴.（ニューオータニ）.

30 日
（金）
・訪台中の木下課長に，7 月 7 日より訪台する旨，TEL 連絡.（9:30）.
・部長会(次長 代理出席)
・部長会にて重要連絡事項として，社長指示による社内秘密事項の保持が示され，次課長と部内における措置を協議.
・OLU レベル変動に関する CW，ETPI への TLX の送付について保全部長と協議.

7 月

1 日
（土）
・沖ー台ケーブル 台湾側陸揚工事のため出航の KDD 丸を横浜山下ふ頭で見送り.

3 日
（月）
・NASC 増田社長に KDD 丸の横浜出港について報告.
・KCS 木村社長と，沖ー台ケーブル，新太平洋ケーブル計画等につき懇談.
・総合報告 日中間海底ケーブルの原稿作成に助力した水野，京極 君らと会食.（山珍居）.

4 日
（火）
・管理部主催の関係部門間打合せ(10:00～11:30)総企，海建.
沖縄における陸揚ケーブル 4 条布設と，漁業折衝の関連について，事務レベルでの統一見解を得るために協議.
・沖ー台ケーブルの海洋部布設を台湾側から行なうことの是非について，志村常務の下で，海建本部内 関係者間打合せ(14:00～15:30)
・スペイン駐在 発令の柴田君の送別会のため，石川君とともに会食.（星沢氏招宴）

5 日
（水）
・KEC 技術図書の原稿に関し，吉田，徳江両君と個別に意見交換.
・石川保全部 と，OLU ケーブルのレベル変動対策について協議.
ケーブル船協定の会合後，CW の Mr．Pitt が来日の意向を示しているので，その際に ETPI Mr. Histed の来日も求め，三社間で OLU のレベル変動対策を協議し，10 月の調達委において決定を図るように進めることが望ましいということで意見一致.
・東西マレーシアケーブルの入札決定のため，Board Meeting が 7 月 7 日に開かれるが，その際の参考資料として，埋設が国際的に評価されている資料がないかとの問い合せが，NEC 鈴木(欽)氏よりあり，ITU の GAS のドキュメントを調べ，要望に応える.

6 日
（木）
・NEC 鈴木(欽也)氏 来訪：GAS の中からとった埋設に関する記述のコピーを渡す.
・NASC. 木下君より TEL.（台北より）.
ケーブル陸揚工事は，7 月 10 日に実施できそうな気象状況とのこと.
最終決定は，さらに状況をみて，関係者協議のうえ，KDD ビーチマスター(杉本副参事)によりなされるように伝える.
・ケーブル船建造に関する総企会審議：松田次長，村松課長に出席指示.
・沖縄中継所の保守体制：資料についての疑義を保全部に質した後，志村常務へ説明するよう，松田 次長に指示.

・OLU レベル変動：状況の把握と原因推定，対策，対策の効果(経ヒと信用度)，対策の推進と体制 等につき，海建本部，保全部間で打合会をもち，次いで関係役員打合会の審議を経る計画で進めるよう 江幡調査役に指示.
・浜田へのあいさつ：松村業務課長に参加を指示.

7 日
(金)
・台湾におけるケーブル陸揚工事視察のため，台北，頭城へ出張.
木下，杉本 両君に会い，状況をきく.

8 日
(土)
・志村常務に連絡.
・14 時発の列車で頭城へ向う．(Mr. Yeh, Kao，木下，杉本，山本 君ら同行)海岸の状況を見る．礁渓 泊.

9 日
(日)
・頭城 海岸にて，陸揚作業のリハーサルを見る.
・台北より，増田社長，木村社長 一行，Mr. T.C.Chiang, Y.Y.Yang ら到着.

10 日
(月)
・午前 4 時頭城海岸にて，陸揚作業開始.
7 時 30 分　ケーブル陸揚作業 終了．(約 450m を陸揚げ).
以降，バルーンブイ Cut，回収，KDD 丸沿岸ケーブル約 4.4Km 布設.
陸側では，局舎への引込み作業を実施.
10 時 30 分海岸を引き揚げ，礁渓ホテルへ戻る.
昼食(羅東)後，マイクロバスで台北へ向う．台北グランドホテル着 16:30.

11 日
(火)
・CGRA Office にて，Mr. Y.Y. Yang らと若干の技術事項討議.
・午後，グランドホテル内で ショッピング.

12 日
(水)
・9:30 ホテル チェックアウト.
10:55 CX450 で離台．帰国

13 日
(木)
・10:15 出社.
・石井補佐より，OLUHO TSC の次回会合等について報告をうける.
・柴田調査役より，東西マレーシア，タイーマレーシアーシンガポール等の各ケーブル計画の進展状況について報告をうける.

14 日
(金)
・保全部長と，TSC の次回会合の開催時期について協議 (10:00～11:00).
Mr. Powell 提案の東京開催に同意し，時期については，available な時期を知らせ，convene してもらう.
・社長室 長沢次長より，公明党 島井一雄議員からの依頼で香港の一流のクラブ等を教えてほしいとのこと，石井君に 香港の Mr. Gaylord Chang に電話できいてもらい，議員に伝える.
・増田社長に同行し，KDD 板野社長に台湾における陸揚工事の報告.

15 日
(土)
・出社.
ITDC　Mr. Yeh, Mr. Kao を迎え，昼食.

17 日
(月)
・日韓ケーブルの海洋調査のため KDD 丸に乗船の MOC 職員 5 名のあいさつを受ける(11:00).
・大型ケーブル船建造に関する関係役員懇談会．(14:00～16:00)
・会合後，志村常務より，会議の結論をうけて，中型船の検討とりまとめを進めるよう指示あり.
・局所長会議用資料の作成.
・MOC 職員を招宴．(三井ビル，マンダリン).
・臨時部長会(17:00～17:30)

本社組織の一部改正について.

18日
(火)
・海底線部打合せ(10:30～12:30).
・本社組織の一部改正，53年度本給，管理者手当，文書等の秘密保持の取扱い等.
・OLUレベル変動の対策の進め方について，打合せ.(13:30～16:00)
保全部 主催. 海建本部，関係者，出席.
・中小形ケーブル船の検討について.
小室受信所駐在畠山調査役の応援を求めるとともに，江幡調査役を当てることとし，松村業務課長を交えて協議.(17:00～19:00)
・台湾でケーブルシップ建設の計画のあることが，先のNASC増田社長訪台のことの折にMr. T.C. Chiangから明らかにされたが，KDDトップよりこれに投資することの是非の検討が志村常務に要請され，情報収集と 各面の検討について常務より話しあり.

19日
(水)
・志村常務の下で，村松，畠山，江幡，鈴木 の各氏とともに，中小形ケーブル船の建造費，経常費等の基礎資料作成についての検討方針を打合せ.(10:20～11:20)
・沖台ケーブルの漁業折衝問題に関する関係役員，部長打合せ.(14:00～15:00).
管理部 主催. 古橋，志村，福地　各役員，総企，海建，管理部 各部長クラス出席.
・7/24～7/26. 上記問題の解決促進のため，古橋常務が訪沖し，県庁，開発庁，具志頭村等に協力依頼するが，これに同行を命ぜらる.

20日
(木)
・畠山，江幡，村松君らの慰労・昼食.
・志村常務より，NASC施設課長の人事について.
・古橋常務，関 管理部長と 沖縄訪問における日程スケジュール等の打合せ.
・三菱重工 特殊船部長代理(営業)奥村氏 来訪.
中小型ケーブル船の建造費見積りについて協力を要請す.

21日
(金)
・志村常務に，NASC施設課長の人事について，NASC社長の意に沿うものであることも配慮すべきであると述べる.
・光海底ケーブル方式に関する関係役員・部長間打合せ(10:00～12:30)
・NTTとの関係をいかに考慮すべきかが討議される.　技計部主管.
・海底線建設推渉状況報告(6月分)を作成.

24日
(月)
・沖縄における漁業折衝対策協議のため，沖縄へ出張.
通信事務所幹部と状況分析および対策協議.

25日
(火)
・具志頭村役場，中継所，漁業組合長 を 訪問.
・19:25発JL906便で帰京.

26日
(水)
・午前，佼成病院　皮膚科.
・午後，出社.
・NASC 増田社長に漁業折衝問題の状況報告.
・OCC 寺西氏 来訪：沖ー台ケーブルの製造後のバージ保管における積込順序について.
・保守専用のケーブルシップの検討結果について，村松課長，畠山調査役より報告を受け，討議.

27日
(木)
・保全部長とTSC会合開催に関するCWからのTLXに関し 意見交換.
・保守専用ケーブルシップの検討結果について，大島副社長に電話で報告.(14:00)
(副社長ウルシ―会合出席のため，夜 出発とのことで自宅へTEL.).
・太平洋ケーブル計画の首脳者会合に対する対処案作成のための資料作成について打合せ(総合計画部 主催). 14:20～16:30
・社長室 西本次長よりTEL.

・苓北 伊沢所長の本社転任に伴なう所属について，問合せ．建設部長と協議のうえ，
建設部・部付副参事とするように回答
・なお，NASC 施設課長人事は，社長室案の線で進めるとのこと，不本意乍ら止むを得ず．

28 日
(金)
・志村常務(7/25～7/27：国会議員を案内し，苓北出張)に報告．
1. 人事に関する社長室次長との協議内容
2. TSC の次回会合に関する CW の TLX.
3. 沖縄における漁業折衝問題．
4. ケーブル船の検討結果：(村松課長，畠山調査役 と共に報告)．
・タイーマレーシアーシンガポール ケーブルの海洋調査報告の提出について，柴田調査役と協議．
1. JICA へ出す調査結果と選定ルート，ケーブル保護に関するコメントは，少くとも，海建本部内で了承の処理をとる．
2. 報告のため，タイ，シンガポール，マレーシア三国を訪問するに当たっては，部内でよく討議し，先方での対応に備えておく．
・沖縄漁業折衝問題の対策協議のための関係役員懇談会(16:00～17:00)
監理部主催． 古橋，志村 各役員，総計，海建，管理部，部長ほか 出席．

31 日
(月)
・午前，佼成病院にて，胃カメラ 検査．
・橘田調査役より，アルミケーブル実験システムの端末等化調査の完了について報告あり．
・村松課長，畠役調査役より，午前に行われた 保守専用ケーブル船の建造に関する総企室の模様をきく．
・三菱重工 牧野顧問 来訪：KDD におけるケーブル船の建造に関する検討の状況について話す。
・OLUHO TSC 次回会合への対応について，保全部と協議．(15:00～16:30)
・業務課長人事について，社長室 西本次長より説明あり，志村常務了承ということで，止むなしとしたが，志村常務からは海底線部長が了解したときいたので止むなしとしたとの話しで，その間の食い違いについて，夜，西本次長より，志村常務への説明を先に行なったのを，小生へ説明し了解を得たと間違えていたと，釈明および陳謝の Tel.あり．

8 月

1 日
(火)
・保守専用の小形ケーブル船建造について，関係役員懇談会で審議．
総企主催．鶴岡副社長以下関係役員 出席．(14:45～16:40)．

2 日
(水)
・理事への内命あり．
志村常務よりの伝達で，村松，堀越 両君へ内命．
・日韓ケーブル機材調達に関するスケジュール打合せ．(10:00～12:30)
総合計画部主催．資材，海建，経理，各部 出席．
・TSC 会合開催の事案決定処理を進める．

3 日
(木)
夏季休暇．
8 月 3 日～5 日．

7 日
(月)
・理事に任ぜらる．辞令交付．11:00～． 役員，NASC，KCS へあいさつ．
堀越業ム課長，日中平和条約に関する外相訪中に伴なう，報道陣のための回線設定に協力の目的で北京へ出張．
・研究所 新納君来訪．shore end control の特許問題について．
・NASC 施設課長，補佐の異動に伴う歓送迎会．(北京大飯店)．
・能勢の父死去．

8 日
・異動昇進者に対する 社長訓示．(11:00～11:15)．

(火)　・社長に理事昇任のあいさつ.
・沖ー台および日韓ケーブルのルートに関する調査結果の報告打合せ.(13:30～　)
海建本部, KCS, NASC の関係者　出席
. 沖ー台ケーブルに関する台湾沿岸の埋設調査およびルートの補足調査の結果のみきき, 日韓ケーブルルート調査については, 松田君に出席させる.
・柴田調査役とともに志村常務にタイーマレーシア, ーシンガポールケーブルの海洋調査報告書について説明.(16:00～17:00)

9 日　・能勢の父死去による忌引き休暇.
(水)　・午前, 星歯科.
・午後, 会社へいき, 沖ー台ケーブルの台湾側沿岸部の埋設調査, およびルート補足調査, ならびにケーブル交差に関する NTT との協定(案)について 志村常務の下での海建, KCS, NASC 関係者間打合せに出席.(15:00～17:00).

10 日　・能勢家告別式.
(木)　・志村常務, ケーブル船の問題で訪台.(16 日迄.)

11 日　・OCC 斉脇氏に TEL.
(金)　大西洋における深海部でのケーブル移動による障害について, 同氏が BPO から得た情報をきく.
case 1. スペインー英国間ケーブル(ビルバオーグーンヒリダウンズ間)1.47″ケーブル 5MHz 方式, 1970 年建設：が急傾斜面で障害となったが, ケーブルが摩耗し障害, 500～1000 Fathom.
case 2. PENCAN-1(0.99″ケーブル, 1965 年建設)：ジブラルタル海峡の大西洋側出口で潮流により障害.
BPO は OLU のバシー海峡における障害に強い関心をもち, KDD の対策を知りたいとのこと.
・新太平洋ケーブルの首脳会合 における技術的事項の検討のための打合せ.(石井, 湯口, 江幡). 14:30～17:00
・日本ーハワイ間ケーブルの日本側陸揚地.
・同ケーブルの建設責任の分担, および 建設所要期間.
・豪ーハワイ間の長距り区間に CS-12M 方式を適用し得るか否か.

14 日　・NEC 田畑氏　来訪.(9:30～10:15)
(月)　東西マレーシア, シンガポールーインドネシア ケーブルの入札結果について報告あり.
・古橋常務より, 先週 沖縄へ行かれ, 漁業折衝問題について, 関保方面へ協力依頼をされた状況の話しあり.(10:15～11:00).
・NEC 鈴木(欽)氏, 布設(東西マレーシア)について KCS と打合せのため来社し, 打合せ後, 来訪.
・金門製作所 斎藤(二郎)氏 来訪.
・訪台中の木下海洋課長より Tel. 沖ー台技術会議は, Mr. Yang が 9 月 4 日より 24 日まで渡米のため, 9 月 18 日から開催は困難とのこと. 10 月 16 日以降で Mr. Yang と協議するよう指示.(18:25～18:40)

15 日　・海底線部, 打合せ.(9:30～12:00)
(火)　・異動後の業務分担等について打合せ.
・日韓ケーブルの建設 PERT の討議.
・国際部長 と TEL
・沖ー台ケーブルの IRU 販売会議の準備について.

16 日　午前, 佼成病院 皮膚科.
(水)　午後, 出社.

・OLUHO TSC 第 8 回会合の対処方針案を石井補佐と検討.
・日電海外エンジニヤリング(社長　田中信高氏)樋口重孝 研修訓練部長より TEL.
(045-932-1111.　EX.~~3616~~)
海外への衛星通信設備の輸出に際し，買方に対する訓練・研修の必要があるが，適当な人(英語ができ，衛星通信システムの技術に詳しい)が，KDD または OB にいないか，期間 2 年位，pay 1.5-2 万円/day.
海協室には断られた.(KDD 地球局での，1 Week 程度の短期実習は可能であるが，長期で外部での講義等は無理).
・KEC 玉置常務理事に 以上の話しを伝える.
・夜，水野君来宅. 結婚の媒酌 依頼.

17 日
(木)
・OLUHO ケーブルの第 8 回 TSC 会合の対処方針(案)の検討を保全部，松村次長に依頼，役員会審議の議題通報のため，笹本取締りに大綱の事前説明.
・NEC 清水，斎藤(文)両氏来訪.
シンガポール，インドネシア ケーブル，日韓ケーブルのことなど.
・志村常務，台湾より帰国，出社.
OLUHO　TSC 会合対処方針(案)の説明，了承を得る.
・夜，ケーブル船建造に関する検討グループ(村松，畠山，江幡.)の慰労.(ギルド)

18 日
(金)
・石川保全部長 サンフランシスコにおける ケーブル船協定改訂の会合を終え帰国.
TSC 会合対処方針の役員会資料につき協議.
・鶴岡副社長に 上記役員会資料の事前説明(14:30～).

19 日
(土)
週休.

21 日
(月)
・TSC 会合対処方針に関する役員会資料を，大島副社長，社長に事前説明.
・NEC 田畑氏より，シンガポールーインドネシアケーブルの Letter or Intent(8.17 付) を受け取った旨，連絡あり.

22 日
(火)
・OLUHO ケーブル TSC 会合対処方針案を役員会にかける. 石川保全部長とともに資料説明：LV 変動対策の検討推進と今後の技小委組織との関連について質疑あり，3 者連帯でこの問題に取組むよう指示あり.

23 日
(水)
・新太平洋ケーブル計画の技術的問題に関する検討結果について.
石井，江幡，湯口君らと討議.

24 日
(木)
・54 年度新規採用計画を策定のため，職員部より要員について問い合せありとのことで，松田君より検討結果が出される.
・KEC より執筆依頼の図書について，編集打合せ(志村，小林(見)鈴木，各氏).
(14:00～16:00)
・人事異動による部の昇任，異動者の歓送迎会(熊野会館).

25 日
(金)
・OLUHO 技小委の準備打合せ. 13:30～16:00.
海建本部，保全部，関係者　間.

28 日
(月)
・部所長会議　10:00～.
午前，社長訓示，局所長 報告.
夜，社長招宴による懇親会

29 日
・昼，業務課長，補佐と，三井ビル，メヌエットの視察，昼食.

(火)　・局所長会議　個別会議．14:30～15:20.
・志村常務に，新 TPC の技術事項の検討状況を説明．(石井，江幡両君 同行)16:00～17:50
・技術作業部会に出席のため来日中の韓国代表 6 名と会食．(野村ビル，Top Hat)

30 日
(水)　・職員部能力開発課より，浜田，苓北，茨城の三局所に 事業知識講座の講演を依頼さる．
題目：国際間海底ケーブル，時期 10～11 月．了承す．
・Fujitsu 三村，新山氏来訪．日韓ケーブルの機材を NEC と配分する案を持ってくる．
・OLUHO TSC 会合の準備について石井君から状況をきく．

31 日
(木)　・沖ー台ケーブルの建設スケジュールに関する関係役員懇談会．10:00～11:00.
大島副社長以下，関係役員，部長間で，開通が '78 年 7 月にならざるを得ないと確認．
・NEC 海外エンジニヤリング 樋口重孝 研修部長 来訪．(16:30～)
KEC 玉置常務理事を紹介．
・小野田君(金門，社長)より TEL．甥の先生の縁談の相手として，KDD 秘書課の棚橋嬢のことの調査 依頼．

9 月

1 日
(金)　・NEC 北爪氏　来訪．
シンガポールーインドネシヤ ケーブルの受注の新聞発表文に対する事前了解．
9 月 9 日に契約調印の見込みで，その後 発表したいとのこと．了承．
・新 TPC 計画における技術的事項の検討のため，NEC 田畑氏，富士通 奥村氏 らと打合せ(14:00～16:00)
CS-12M，CS-5M 方式の長距離への適用時の問題．
規格限界で，実現可能といい切れるかの確認を求める．

2 日
(土)　・KDD ゴルフコンペ　に参加．

4 日
(月)　OLUHO　第 8 回技小委　東京にて開催．
10:00～開始

5 日
(火)　夜，志村常務 招宴．(ストックホルム)

6 日
(水)　午前，OCC 新山下工場訪問，被傷ケーブルを見る．

7 日
(木)　・ C.S. Recorder によるバシー海峡付近の調査に参加の件につき，大島，鶴岡両副社長に説明，了承を得．また，志村常務よりスペイン訪問中の社長に TEL．により了承得．

8 日
(金)　・上記調査に参加のため 江幡君派遣の決定処理．
・TSC．終了．
夜，海底線部長招宴．(銀座，天一)

9 日
(土)　・ASEAN．― P-S ケーブル，シンガポールで障害発生とのこと．
香港でバシー海峡調査の準備を進めていた C.S. Recorder がその修理にシンガポールへ向うこととなるため，バシー海峡の調査は修理後に延期．

11 日
(月)　・部内打合せ．(10:00～11:30)　調査役　以上．
・志村常務に，OLUHO. TSC　minutes を提出し，報告．
・富士通 山口，北村氏(営業)，伊藤忠 菊野氏ら，来訪．

ASEAN-T.M.S.（タイ・マレーシア・シンガポール）ケーブル計画について状況の報告.

12日（火）
・光海底ケーブル方式の研究開発計画 および その推進に関する，関係役員 懇談会.
(10:00～12:15)，総企，技計 主催.
大島副社長以下，関係役員.
研究所長　ほか，海底線部長，技計部長ら　出席.
・第39回 新技術開発推進委員会.（13:30～17:00).

13日（水）
・新TPCケーブルにおける日本方式の適用に際しての問題点の検討のため，NEC，Fujitsuの田畑，奥村 両氏 ほかと 打合せ(13:30～)
・海底線 建設委員会 に 出席.（14:00～17:00).
・TPC計画 首脳会合 の 対処方針案について　討議.

14日（木）
・CW　Mr. Powellより，第8回TSCのConvenor's Report No.6が送られてくる．志村常務に提出し，内容 了承．これに対するコメントの案作成を求めらる.
・日韓ケーブル 第5回 技術作業部会の対処方針の事案決定処理を進める.

16日（土）
・9月15日 15時40分，TPC-1 二宮沖で障害を起す.
これに対する アルミケーブル実験システム との関係を MPT 飯島参事官と協議：
KDD，MPT間での覚えがきに基き，必要事項を確認する.（電話による口頭確認).

18日（月）
・TPC-1障害について，保全部主催 打合せ会合.（10:00～11:00)
・台湾CGRA，陳金鐘，楊国炘 両氏．中継器検査参加に来日.
夜，招宴.（北京大飯店).

19日（火）
・役員会にて，総合計画部長と共に　TPC首脳会合 対処方針案の審議をうける.
(11:10～12:10).
・OLUHO・TSC会合 の 役員会報告資料 作成

20日（水）
・NASC 取締役会.（11:00～12:00)
NASC 役員 昼食会.
・MOC技術作業部会代表に対する常務招宴.（きた山)

21日（木）
・MPT　飯島参事官に　TPC-1の障害修理完了と，アルミケーブルには何ら障害を与えなかったことを報告.（9:35～)
・役員会にOLUHO TSC会合報告を行う予定が，案件多く，次回廻しとなる.
・富士通 奥村部長 来訪.
OTC，Mr. Tudehopeより 日本方式に関する技術事項の問い合わせの同社あてTLXあり，その回答についてKDDに相談あり.
・沖ー台ケーブルの懸案事項(機材の保管料，沖縄のケーブル4条布設費用のわりかけ法，円高の影響)について，総企 総合計画部長，経理部長と協議(13:30～15:00)
・TPC-1 障害修理完了に伴なう，KDD丸乗船者 他の慰労 パーティ.
（横浜，サテライト ホテル)

22日（金）
・部長会(松田次長代理出席).
・管理部 内野次長より.
浜田の陸揚局用地の獲得が地主の同意を得るのが困難のため難航の気配である．市では，国道の山側ではどうかと云っているが，ケーブルの国道横断に技術的問題があるかどうか海建部で検討するしてのほしいとのこと：松田次長に建設部と協議のうえ　検討するよう指示.
・国際部 新井協約課補佐より.

OLUHO 調整委，及び OPS/FIN 小委開催に当っての事務的問題について，協力要請.

25 日 ・部　打合せ.
(月) ・TPC-1 の障害修理の状況を，アルミケーブルのシステム分科会で，報告するよう指示.
・会議が 連続して開かれるが 会議事務の処理を，業務・技術 両課協調して行うよう指示.
・OLUHO TSC 会合の事務局，タイピストの慰労(スイス　シャレー)
・TPC 計画に関する技術的検討を，NEC，Fujitsu と 行なう(14:00～16:30)

26 日 ・日韓ケーブル会議(第 5 回).　10:00～17:45.
(火) ・OLUHO TSC 会合報告を役員会に提出. 時間がなく，口頭説明なしに資料提出に止まる.
・日韓ケーブル会議 韓国代表に対する招宴. (般若苑).

27 日 ・富士通奥村氏に TEL. OTC(A)よりの質問に対する回答 TLX について，疑問点の確認.
(水) ・日韓ケーブルの事務局を海底線部 業務課で今後引受ける件について志村常務，建設部長と協議. (10:00～11:30). 他部門の協力，総企室からの明確な引継ぎを受けることで，了承する.
次長，業務課長，補佐，技術課長らに伝達し，業務の遂行を指示.
・沖ー台ケーブルの懸案事項とその対策について,総合計画,経理部と打合せ.(13:30～15:00)
・TPC 計画の技術問題に対する NEC，Fujitsu との 検討結果を志村常ムに提出.

28 日 ・役員会：国際部長，経理部長とともに，OLUHO OPS/FIN　合同会合および 調査委員会会
(木) 合(第 8 回)の対処方針(案)について審議をうける.
・沖ー台ケーブルに関する懸案問題(スケジュール遅延に伴う，機材保管，建設費の増，沖縄前面海域におけるケーブル先行布設費のわりかけ，円高問題)の対処について，関係役員懇談会. (15:30～17:40)
・日韓ケーブル会議 韓国側代表との会食 に参加(12:10～14:00)
・NASC において，沖ー台ケーブルの懸案問題に対する KDD の検討状況を社長に報告し，若干の討議. (18:00～18:45).

29 日 ・太平洋ケーブル首脳会合に対する 技術面の問題の検討.
(金) ：北太平洋地域における ルート選択の検討結果に対するコメント について志村常務と協議，コメント案を作成.
・ETPI (Mr. Africon)より，TAILU の機材引合に関し，OLU ケーブルにおける障害問題と関連し，日本方式および，KDD，NEC を非難する言があったと，NEC から伝えてくる.

30 日 ・太平洋ケーブル首脳会合への対応に関する KDD 出席者間 打合せ. (10:30～12:45)
(土) 社長，鶴岡副社長 ほか，関係役員，部課長　出席.
発言要旨，順序等について討議.

10 月

2 日 ・新太平洋ケーブル計画 首脳会合 始まる.
(月) ホテルニューオータニにて，社長以下の KDD 代表の assistant として会合に出席.
(10:00～12:00，14:00～17:00).
・夜，ホテルニューオータニにて，社長招宴.

3 日 ・午前中，新太平洋ケーブル 首脳会合. (9:30～12:00)
(火) 午後は，休会で，各国代表は excurtion.
・本社に戻り，OLUHO 調整委員会の準備打合せ. (石井，江幡，徳江，保全部本多).
OLU 障害に関する説明資料の準備を指示.
・古橋常務による commor Wealth Group の招宴に 出席.

CW Mr. Warwick, Teleglobe Canada Messrs. Segin & Williams.

4日 (水)
・TPC 首脳会合 最終日. (9:30～12:00)
会合は午前で終了.
・OLUHO 調整委の準備対策について, 石井保全部長と協議.

5日 (木)
・OLUHO 調整委員会 開会. 10:00～, 32F, 会議室.
直ちに OPS, FIN の作業部会 に移り, Financial Group の会合に出席. (午前 11:00 まで, part time).
・NEC 北爪, 田畑 氏 来訪：東西マレーシアケーブルの letter or intent が発出されたとのこと. 布設工事に KDD 丸を使用するため, その要請文書を KCS に出したが, 船上端局, 測定機については,KDD から借りたいとのこと,別途,依頼文書を KDD に出すことを suggest.
・OLUHO 会合 出席者に対する鶴岡副社長 招宴. (シャンボール, 32F)
二次会, 千代新に, Mr.& Mrs. Davies, Warwick, Bane, Africa の各氏を招く. (鶴岡副社長 主催)

6日 (金)
・Mr. Bird, Mr. Histed と, TSC からの Coord Comm. への報告について協議.
今後の TSC の convenor に小生がなる様要請あり.

7日 (土)
・調整委員会(9:30～12:00)
・TSC convenor および chairman に指名される.
・前回の TSC 会合の状況および結果と, OLU 障害の原因および対策に対する個人的見解を述べる.
・TSC の次回会合について, 大よその予定が審議され, 11 月中旬に expert meeting, 明年早々に TSC を開くことが了承さる.
・京王プラザテルにて, 昼食懇談.

8日 (日)
・OLUHO 会合 出席者の エクスカーション に同伴.
鶴見 総持寺, 横浜 三溪園, 鎌倉 大仏等

9日 (月)
・OLUHO 調整委のミニッツの修正のため, Mr. Bird と協議.
さらに, C.S. Recorder バシー海峡部調査後の専門家会議等について, Mr. Bird と協議. (10:00～12:30).
・Mr. Bird と昼食(32F, シャンボール).
・富士通 京極, 北村氏ほか, 伊藤忠 菊野氏ら 来訪. (15:00～15:30)
1. エジプト/ギリシャに対する海底ケーブルの(tech)presentation の状況報告. エジプト TELecom(ARETO)より, CS-5M, CS-12M の技術資料を要望された. KDD 事ム所から本社へ, 資料提供の要請がある筈, とのこと
2. タイーマレーシアーシンガポールケーブル.
タイの計画変更は,タイ国内で閣議へ提出のうえ検討されることとなろう.マレーシア, シンガポールへの協議も未済, 情勢をまつほかなし.
3. TAILU
引合書はすでに以前に来ている. 10 月末までに offer を要求されている価格はとも角, 納期が「明年 10 月に船積のこと」とあるので, 極めて苦しい.
・フィリピンへ向った, 江幡君は, 同地へ台風接近のため フライト欠航となり, 成田空港で一泊とのこと. 電話で, 今朝 Mr. Bird と話し合った結果を知らせる. すなわち, バシー海峡の調査終了後, マニラへ Mr. Bond がロンドンから飛来し, Mr. Borton, Young から結果をきいて, 打合せる件, など.

11日 (水)
・日中ケーブルに障害発生. R24 付近, とのこと. (無外装ケーブル埋設区間).
中国側より, KDD 丸の出動要請あり.

・横河ヒューレットパッカード，営業本部 電子計測部 諏訪部長 ほか 来訪.
発注中の スペクトルアナライザーが手直しのため 納期が遅れる件につき釈明.

12日 (木)
・夜，新太平洋ケーブル計画 首脳会合 関係者に対する慰労 社長 招宴.
(32F，シャンポール).

13日 (金)
人間ドック(1日). 住友ビル楠樹記念病院にて.

14日 (土)
・佼成病院皮膚科へ寄ったのち，会社へ顔を出す.

16日 (月)
・部 打合会.
・NASC 増田社長に，訪台に随行する件のあいさつ.

17日 (火)
・役員会に 新太平洋ケーブル計画 首脳会合の報告. (総合計画部長に，国際部長とともに同席).
・夜，OLH 調整委員会会合関係者に対する慰労の 志村常務招宴.

18日 (水)
・沖縄－台湾ケーブル 第4回 技術会合の 準備打合. (10:00～11:30).
NASC/KDD 関係者 間.
・関管理部長より，沖縄の漁業交渉の方法について意見を問われる.
強硬手段をとることの是非については，充分に世論のバックがある見通しがなければ，建設を実施する側としては，実施上のトラブルがつきまとうことが心配される. できる丈円満に早期解決をはかるよう努力することを要望する.

19日 (木)
・役員会に，OLUHO ケーブル 第8回調整委員会の会合の模様について報告. (国際部長，経理部長 と同席).
・日韓ケーブルの引合書の対業者説明会(資材部 主催)に出席. (13:30～15:00)
・海底線部 副参事の定期管理表を担当役員に提出.
・次長，技術課長に，台湾出張中の後々について指示.
1. 日中ケーブル障害修理. (次長).
2. 定期管理表. (次長)
3. OKITAI，IRU 会議用資料. (課長)
4. OLU 関係の TLX 処理. (課長).

20日 (金)
・NASC 取締役として，NASC 増田社長に随行し，ケーブル会議出席のため，台湾に出張.

21日～23日 ケーブル会議.

24日(火)～28日(土)
第4回 NASC/ITDC 技術会議に 引き続 き出席.
途中，国際部長と Tel.，11月8日～9日の IRU 販売会議に出席を要請される.

29日 (日)
帰国

30日 (月)
・志村常務に，出張報告(口頭).
・石井，矢口両君と IRU 販売会議の技術資料作成について打合せ.
・杉村萬国特許事務所 大宮謙三氏より，娘さんの KDD 就職試験の力添えを頼まれ，大島副社

長にご相談する.
問題集(52年度)写しを 大宮氏に提供し，参考に供す.
・国際部長，保全部長と，OTケーブルの保守船に係る協定等の問題を協議.
・新技術開発推進委員会(第41回)に出席. (15:00～17:00)
・NASC増田社長に帰着あいさつ.

31日 (火)
・定期管理表，異動昇進上申書(3類，4類管理者)を作成.
・志村常務に報告.
1. OKITAIケーブル会議，および 技術会議のミニッツ.
2. 東西マレーシアケーブルの布設に必要な，船上設備(端局，電気的布設設備，埋設設備etc)の借用に関する依頼文書案を日電田畑氏が持参したので，検討中.
・上記2について，技術課長に，建設部，総企技計部，社長室 等と協議 検討するよう指示.
・長計資料(海底ケーブルプロジェクト)の作成について，技術課長，広谷調査役より案が示され，とくに沖ー本ケーブルについて，海洋調査，機材製造が，他プロジェクトと抵触しないか，布設時期が問題ないかをさらに検討するよう指示.

11月

1日 (水)
・成城学園 南條氏より Tel.
成城時代の教え子，(都築佳子：慶応大，応用化学54. 3年卒予定)の就職について依頼あり.
・MPT 飯島参事官 にTEL.
懇談が延び延びになっていることの詫びと，11月中旬に計画したい旨を伝える.
・ガルフケーブル(バーレン，カタール，UAE)対するconsultancy入札招請の件について，打合せ. (14:30～17:15).
海外協力室 主催. 志村常務以下，海建本部，海協室 関係者で入札招請状の内容検討および今後の対策について協議.

2日 (木)
・沖ー台ケーブルIRU Sales Meeting(サンフランシスコ)用技術資料の検討. (石井，矢口)
・ソニー技術教育センター 玉野氏にTEL. 成城学園南條氏より依頼の都築嬢がソニー受験するに当りよろしくと伝える.
・大島副社長より.
三信工業にて改良中のプラスチゾールの話しが同社首脳からあったので，工場を見に行くことを考えるよう指示あり.
・新技術開発推進委員会(第41回)に出席(14:00～17:00).

4日 (土)
出社.
・香港よりTEL.
CS Recorder乗船の江幡君より，香港寄港を利しての連絡あり.
・X-mas Cald発送リストの準備.
・IRU brochure(OKITAI用)の検討.

6日 (月)
・午前 出社.
・志村常ム.
1. IRU Tech. Brochure(沖台用)，提出.
2. 長計資料の ケーブルプロジェクト線表案につき事前説明，案ができ次第，説明のこととする.
3. 三信工業の件.
・次，課長へ後事の指示.
1. 長計資料案の作成.
2. 身上調査表.
3. 東西マレーシアケーブルの伝送測定設ビ.

・KCS 広島専ム，川井，田村取締と，東西マレーシア測定設ビの貸与の件について協議.
NEC から KCS へ詳細を出し，KCS/KDD 間で協議することとし，NEC/KDD 間の直接協議(担当レベルは除く)はしないこととする.
午後，20:40 JL002 便にて，沖ー台 IRU 販売会議 出席のため，サンフランシスコへ向う.
同日，正午過ぎ(現地時間)サンフランシスコ着.

7 日 (火)　・会合準備と，sightseeing.

8 日～9 日　会議.

10 日 (金)　・木村常務，高松部長と，サンフランシスコへ着かれた 板野社長夫妻に Saint Francis ホテルにて，挨拶.
木村常務を 空港に見送り，shopping.

11 日 (土)　・14:30 発 LA001 便で，サンフランシスコ発
成田着. 日本時間　12 日(日)19:00 時.

13 日 (月)　・午後，出社.
・志村常務へ報告.
・増田 NASC 社長へ報告.
・次課長より，出張中の業務状況の報告.

14 日 (火)　・三信工業 榑松氏より TEL.
プラスチゾールに関する工場訪問の件：志村常務と協議のうえ，返答することとする.
・柴田，石井の両君より，ガルフケーブルのコンサルティング入札のための諸要工数の算定状況について，報告あり.

15 日 (水)　・日中ケーブル障害修理のため，南滙出張の湯口君ら帰国，志村常務への帰国挨拶に立会う.
・長計 20 号の海底線プロジェクト関係資料(投資額および，要員)案について，広谷，桂君から説明を受け，協議後，志村常務に説明.

16 日 (木)　・三信工業榑松氏へ TEL.
志村常務と協議の結果，11 月 22 日(水)に，千葉工場を訪問したい旨伝える.
・ガルフケーブルのコンサルティング業務の入札に関する役員会資料の作成について，海協室 三宅次長 と協議.

17 日 (金)　・午前，ガルフケーブルのコンサルティング業務の入札に関する役員会資料案について，関係者間打合せ. (海協，海底線部). (10:15～12:40.)
・午後，日中ケーブルの障害修理に関する報告打合会(保全部 主催)13:00～17:00.

18 日 (土)　・佼成病院 皮膚科.
・10:45　出社.
・CS レコーダ乗船の江幡君より TEL.　調査を終え，香港に向って帰航中とのこと.
・ガルフケーブルコンサルティング関係の役員会資料について志村常務に説明.
・三宅 海協室次長，石井，柴田君らと，資料の最終版作成.

20 日 (月)　・役員会資料(ガルフケーブルコンサルティング)を，鶴岡副社長，板野社長に事前説明.
・三信工業訪問予定の延期(年末闘争がやま場のため)について榑松氏に連絡.

21 日　・ガルフケーブルコンサルティングのプロポーザル提出に関する案を役員会にて，海協室三

(火)　宅次長と共に説明.
　大綱 了承,見積り額については,他との競争性を考慮し,さらに検討するよう指示あり.
・海底線部 打合せ(14:00～15:30).
・MPT 飯島参事官 ほか と懇談(ろ山).

22日 (水)
・長計20号作成のための,海底ケーブルプロジェクト計画に関する総合企画会の審議に出席.
(10:00～12:30)
・江幡調査役 バシー海峡調査を終え，帰着.
概略の報告をきく.
・社長室 総務課長 より，シンガポール事務所長交代について話しあり，石井君を候補にしたいとのこと．後任について考慮することを条件に了承．(志村常務　了解ずみ).
・大宮氏(杉村法律事ム所)より，娘さんのKDD採用内定通知があったとのTel．あり.

23日 (木)
祝日.
年末闘争　妥結の旨，業務課 加瀬補佐 より Tel．(17:30)

24日 (金)
・ガルフケーブルコンサルティング経費の再検討結果について，三宅次長(海協室)と検討.
・海底線部上級管理者の身上調査表を役員に提出.

27日 (月)
・石井君に，任副参事，命シンガポール事務所長，(発令は赴任準備整え次第)の内命.
・CW船レコーダ号によるバシー海峡海洋調査の結果の報告打合せ.
(同船に立会い乗船した江幡調査役より報告)．13:30～16:00.
志村常務，笹本取締役 他 関係部門(海建本部，保全部，KCS).
・沖台ケーブル経理専門家会議に出席のため，訪日したCGRA代表に対するNASC社長招宴.
(東京大飯店).

28日 (火)
・猪股，石井 両君と，石井君の仕事を 他に分担させる件について協議.

29日 (水)
・日韓ケーブル会議の対処方針案について，志村常務，関係部門(資材，経理，海建本部)間で打合せ．(10:00～12:30).
・杉本，江幡，湯口君と，個別に，TPC-3計画の技術的検討をpreliminaryに進める件について協議.

30日 (木)
・定期 健康診断，受検.
・沖ー台ケーブルの沖縄における工事着工に伴なう，労組への会社説明に出席
(13:30～15:00).
・金門製作所 斎藤(二郎)氏 来訪．(16:00～16:30)
・OCC 斉脇氏 来訪．(16:30～17:15).
　・Hawaii-4 と 沖本ケーブルのケーブル受注は両方は困難．沖ー本が決まれば，これを優先．(Haw-4は，明年半ば頃にはATTから話しがあるのではないか).
　・TAILU Cableのtenderに対するclarificationが近く台北である.

12月

1日 (金)
・日韓ケーブル会議 対処方針案について，志村常務，関係部門間で打合せ(10:00～12:40).
・富士通 関川氏ほか 来訪：日韓ケーブルのプロポールに関し，納期遅延の理由に開発があることを挙げている点について質す．(13:50～14:30)
・TPC-3計画 の予備的検討について，杉本，江幡，湯口君と打合せ．((15:00～16:30)
明年3月頃に予想される，ATTとの技術会議に備え，今後の検討作業の枠組みを考えて行くこととする.

2日
(土)
・出社.

4日
(月)
・TAILU ケーブルルートに対するCWの提案につき，関係役員，部長間打合せで協議.
(10:00～11:30).
志村常ム，笹本取締，保全，建設，KCS.
・三信工業訪問，プラスチゾールの製造状況を視察.（午後）
志村常務，徳江課長，杉本副参事とともに，博松氏の案内.

5日
(火)
・KEC図書の編集グループ打合せ(14:00～16:30).

6日
(水)
・日韓ケーブル会議 対処方針 の 役員会資料を，両副社長，社長に事前説明.
・大井電気 伊藤氏　来訪.
・ガルフケーブルコンサルトプロポーザルに提示する 実施候補者について，松田，猪股君と協議.
・海底線部　忘年会.（六本木).

7日
(木)
・役員会に，日韓ケーブル第6回会議および作業部会の対処方針案をかけ，了承を得る.
・ガルフケーブルコンサルティング入札書提出のため，UAE，カタール，バーレンへの出張を命ぜられる.
三宅 海協室次長，柴田調査役と，出張準備の打合せ.
・上記コンサルティング入札書に記載する 従事者 選考のため，江幡，水野，京極君らに意向を確かめる.

8日
(金)
・志村常務，河井海協室長，阿部建設部長次長らと，ガルフケーブルコンサルティングの従事候補者を選考，総企室，技計部 佐藤正紀君も候補者とするべく，折衝のこととする.
・アラブ渡航のため，三井クリニックにて，コレラの予防注射.
・富士通関川氏ほか 来訪.
日韓ケーブル用プロポーザルの疑問点について釈明あり.

9日
(土)
・出社.
出張準備.

11日
(月)
・ガルフケーブルコンサルティングの入札書提出のための中近東地域への出張準備.
・日韓ケーブル技術・契約財務 合同作業部会，ソウルにて開催さる.
・伝送同門会.（京橋会館).

12日
(火)
・コレラ予防注射(第2回). 三井ビル，新宿副都心クリニックにて.
・NASC 森監査役に，UAE，カタールの日本大使館あての紹介状を依頼.
・NEC 中近東部 能勢課長，営業清水部長，住商 ワラ見氏らに現地駐在員のATTENDを依頼.
・柳生君の黄授褒章授彰　祝.（東條会館).

13日
(水)
・昼頃 会社へ出て，社長に中近東出張のあいさつ.
・17時30分 KDDビル発. 成田へ.

14日
(木)
・アブダビ着. 日本大使館. MOC　訪問.

15日
(金)
・ドバイ　視察.

16日　コンサルタントの入札書提出.　9:00.
(土)　入札書　開封立会.　12:00.

17日　アブダビ 地球局 見学.
(日)

18日　アブダビ発　カタール，ドーハ着.
(月)　西 海岸 視察

19日　日本大使館，MOCT　訪問.
(火)　北東部 海岸. 視察.
　　ドーハ発，バハレン　マナマ着.

20日　CW Mercury House へ.　Mr. Wheatley を訪問.
(水)

21日　バハレン　発
(木)

22日　香港 着
(金)

23日　香港発，成田着.
(土)

25日　・志村常務，大島副社長，板野社長に　出張報告.
(月)　・KEC 図書 編集 打合せ. (15:00～16:30).
　　・海底線部 主任以上に対する部長招宴　(松島，18:00～).

26日　・日中ケーブル修理後の埋設に関する 対策打合せ. (15:00～16:00).
(火)　大島副社長，志村，笹本の各役員，関係部長. (保全部 主催).
　　・慶応大 都築佳子 氏 来訪. (17:00～)就職の件.

25日　・NTT より，特許「局間信号中継方式」の実施状況調査依頼の文書来る. No.6 信号方式に関
(水)　連ありや否やについて，総企 技術管理課に検討依頼.
　　・志村常務に，OLU 管保ミーティングの開催予定に関する CW，ETPI の意向とそれに対する KDD の対応について報告説明.
　　・東大海洋研 寺本教授　来社. バシー海峡調査データを提供し，解析・検討を依頼. 後，夕食. (京王プラザホテル)懇談

28日　・資料整理.
(木)　・研究所 新納君 来訪：光海底ケーブルに関する諸外国の研究開発動向の報告.

29日　・OLU 関係ミーティングの開催に関する CW，ETPI への回答 TLX 発出.
(金)　・ガルフケーブルコンサルティングの入札書提出に関する役員会報告について
　　柴田調査役と協議.
　　・仕事納め.